



第59回 日本心血管インターベンション治療学会
関東甲信越地方会
心血管インターベンションの進むべき道

The 59th Kantokoshinetsu Regional Conference of
Japanese Association of Cardiovascular Intervention and Therapeutics

プログラム



会
期

2022年5月7日(土)

会
場

大手町サンケイプラザ
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-7-2
TEL: 03-3273-2258

会
長

菅野 晃靖 (横浜市立大学医学部 循環器・腎臓・高血圧内科学)

参
加
費

会員 6,000円 非会員 7,000円 コメディカル 2,000円

一人ひとりの、明日へ。

人は、未来のことが見えないと、不安になる。

慢性心不全治療に、新しい選択肢を増やすことで、
未来への不安をひとつでもなくしていけるように。

明日が、信じられる日になれるように。

私たちは、患者さんの未来に貢献したいと考えています。



会長挨拶

この度、第59回日本心血管インターベンション治療学会 関東甲信越地方会を開催させていただくにあたり、ご挨拶を申し上げます。

2020年初頭より本邦に訪れたCOVID-19パンデミックの波が、容赦無く我々の日常を変貌させてから既に2年以上が経過しました。第6波で主流となっているオミクロン株による新規感染者数は、現時点でようやく減少傾向にあります。第5波のときのような急速な減少は見られておりません。まだまだこのコロナ禍の出口は遠くにあるように思えます。

そんなコロナ禍の真只中に開催されました、第56回、57回、58回、それぞれの関東甲信越地方会を成功裏に収められました各会長の先生方におかれましては、心より敬服致します。

さて、本地方会の開催方式につきましては、従来通りの対面式を目指して準備を進めて参りました。しかし、第7波の到来もささやかれる中、現時点での感染流行状況を鑑み、大変残念ではありますが、ハイブリッド開催とすることに決定致しました。

ただし、リモート参加の安全性、簡便さ、有益性を取り入れつつ、感染状況さえ許せば、現地に足を運んでいただいての参加も、全ての参加者が自由に選択可能にしたいと考えております。

ご参加の登録時には、座長、コメンテーター等のお役割の先生方、演者の先生方以外のご参加の皆様にも、現地参加が可能かどうかのアンケートを取らせていただきますが、当日の状況による急な変更にも極力対応できるように、準備を進めて参ります。それでも、多々ご迷惑をお掛けする可能性があるかと予測しておりますので、その際には、ご容赦いただけますと幸いです。

現地でのご参加ができませんでした皆様には、少しでも従来通りの対面式における緊張感・高揚感・充実感を味わっていただき、そして会員同志の交流を進めていただきたいと存じます。

本地方会のテーマは、「心血管インターベンションの進むべき道」とさせていただきます。

昨今、PCIに対する逆風が吹いているのを感じますが、一方で、ACSに対するPCIは確固たる地位を確立し、また、全身状態や合併症、フレイルなどのため、低侵襲なインターベンションが必要とされる場面も増えていると感じます。さらに、心不全治療としての介入や適応拡大するSHDインターベンション、脳梗塞予防の新たなインターベンションなど、まだまだ我々インターベンション医が進むべき道は、広く長く続いています。

それを踏まえ、会長企画として、「ACSインターベンションを極める」、「合併症・併存疾患を持つ患者へのインターベンション」の2つを提案させて頂きました。本セッションにも多くの演題をご応募頂きまして、誠に有り難うございました。他のセッションより少し長めのディスカッション時間を予定させていただきましたので、存分に議論を深めていただきたいと存じます。

切望しておりました対面開催は、残念ながら中途半端となることが予想されますが、もし状況が許せば御足労ながらご参集いただきまして、活発に討議が交わされることを期待致します。

最後に、本会の開催にあたりまして多大なるご協力をいただきました、支部役員・運営委員・会員の先生方、コメディカル部会の皆様、そして、大変多くのご支援を頂きました協賛企業と運営会社の関係者の皆様に、深く御礼を申し上げます。

2022年5月

第59回日本心血管インターベンション治療学会
関東甲信越地方会
会長 菅野晃晴
横浜市立大学医学部 循環器・腎臓・高血圧内科学

ご参加の皆様へ

●ご来場について●

参加登録&決済完了後に【第59回CVIT関東甲信越地方会(個人登録)決済完了通知】のメールが自動配信されます。出力もしくは画面保存の上、当日はこのメールを会場受付でご提示ください。

1) 出演者

* 出演者は原則会場(大手町サンケイプラザ)にお越しいただき、会場からのweb配信となります。病院の規定などでお越しただけない場合は、必ず事前に運営事務局までご一報ください(kkseinfo@kksecvit.jp)。

* 発表の際もマスク着用にご協力ください。

2) 共催企業のアテンド

* 1セッションにつき3名まで可能ですので、会場受付にてSTAFFカードを受け取ってください。また、長時間滞在とならないようご担当セッション終了後は速やかにご退出願います。

※会場では適宜換気を行いますが、感染症予防のため下記事項についてご協力願います。

- ①会場入口での体温チェックと会場内でのマスク着用
- ②密集・密接・密室を避け、安全な距離を保つ

3) 一般参加の方(ロールおよび演題発表なし)

* 今回は一般聴講の方も来場可能ですが、会場入り口での体温チェックと、会場内でのマスク着用、及び3密を避けるなどにご協力願います。

* 視聴ページからご参加される方は、ご講演や演題発表へのご意見・ご質問などは、試聴画面のチャットをご利用ください。

※幹事会・ライブ実行委員会・運営委員会はWeb Meetingを推奨しておりますので、ご来場いただくには及びません。

大手町サンケイプラザ会場案内地図



■交通: 地下鉄 丸の内線・半蔵門線・千代田線・東西線・都営三田線「大手町駅」下車 A4・E1 出口直結
JR「東京駅」丸の内北口より徒歩7分

■住所: 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-7-2 ■電話番号: 03-3273-2258~9

●点数の取得について●

学会参加単位および業績は、「WEB配信の視聴ログ(主催者よりCVIT本部へ提出)」と「参加・単位証明書(参加者提出)」の両方の提出をもって取得可能となります。

なお出演者はご来場となりますので、主催者からの出演者一覧の提出をもって「視聴ログ」に替えさせていただきます。

*出演者(座長/演者など)も事前にホームページ(<http://kksecvit.jp/59/>)より参加登録と決済(クレジットカードでのお支払いのみ)をお願い申し上げます。感染症予防策、及び防犯上の理由から、会期中も会場での現金取り扱いはいたしませんので、必ずご来場前に登録を行ってください。

領収書及び単位証明書は当日の会場受付にて配布いたします。また、オンデマンド配信の予定はありませんので、マイページはございません。

*領収書、参加・単位証明書につきましては、ご登録、ご参加いただいた皆様へ会期終了後にメールにてお送りいたします。

取得可能単位

参加登録受付日	該当単位名	点数
5月7日(土)	第59回日本心血管インターベンション治療学会 関東甲信越地方会	3単位
	心血管インターベンション技師制度(ITE)	10単位

Web 試聴について

1) ホームページ(<https://kksecvit.jp/59/>)から参加登録&決済を行います。手続き完了後に【第59回CVIT関東甲信越地方会(個人登録)決済完了通知】のメールが自動配信されます。メールに【視聴ページのURL】・【ID】・【パスワード】が記載されています。

2) 【視聴ページのURL】をクリックし【ID】・【パスワード】を入力すると視聴ページに移動しますので、ここから当日の視聴(質疑のチャットを含む)、プログラム・抄録集の閲覧が可能となります。

委員会スケジュール ※感染症予防対策のため Web 参加を推奨します

5月7日(土)	大手町サンケイプラザ
幹事会	10:00-10:40 第5会場(2階)
ライブ実行委員会	10:40-11:20 第5会場(2階)
運営委員会	11:30-12:10 第4会場(3階)

※委員会についてのお問い合わせは、下記(株)春恒社 学会事業部内となります。

第59回日本心血管インターベンション治療学会 関東甲信越地方会 主催：日本心血管インターベンション治療学会 関東甲信越地方会

第59回 日本心血管インターベンション治療学会 関東甲信越地方会 運営事務局

〒108-0075 東京都港区港南2-16-1 品川イーストワンタワー 3階

一般社団法人メディカルコンベンションサービス内

TEL:03-5796-3121 FAX:03-5796-3122 E-mail:kkseinfo@kksecvit.jp

日本心血管インターベンション治療学会 関東甲信越地方会 事務局

〒169-0072 東京都新宿区大久保2-4-12 新宿ラムダックスビル

(株)春恒社 学会事業部内

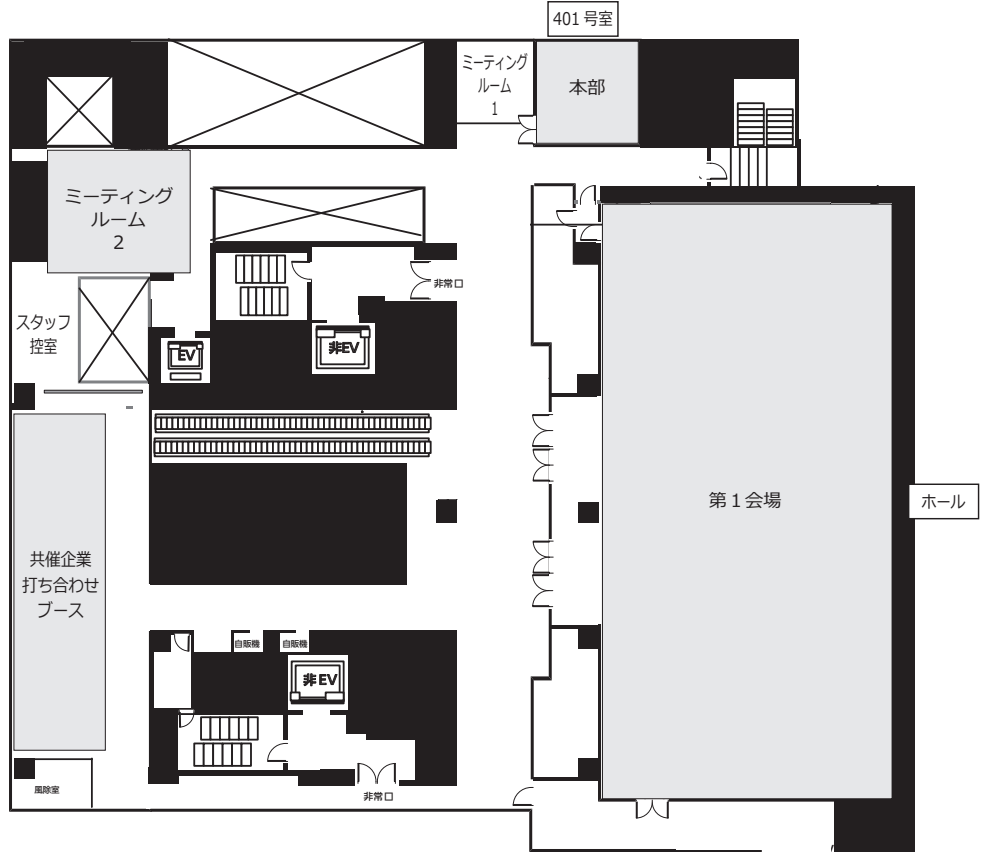
TEL:03-5291-6231 FAX:03-5291-2176

日本心血管インターベンション治療学会(CVIT)事務局

〒104-0033 東京都中央区新川2-20-8 八丁堀スクエア2階・3階

TEL:03-6280-4126 FAX:03-6280-4127 E-mail:info@cvit.jp

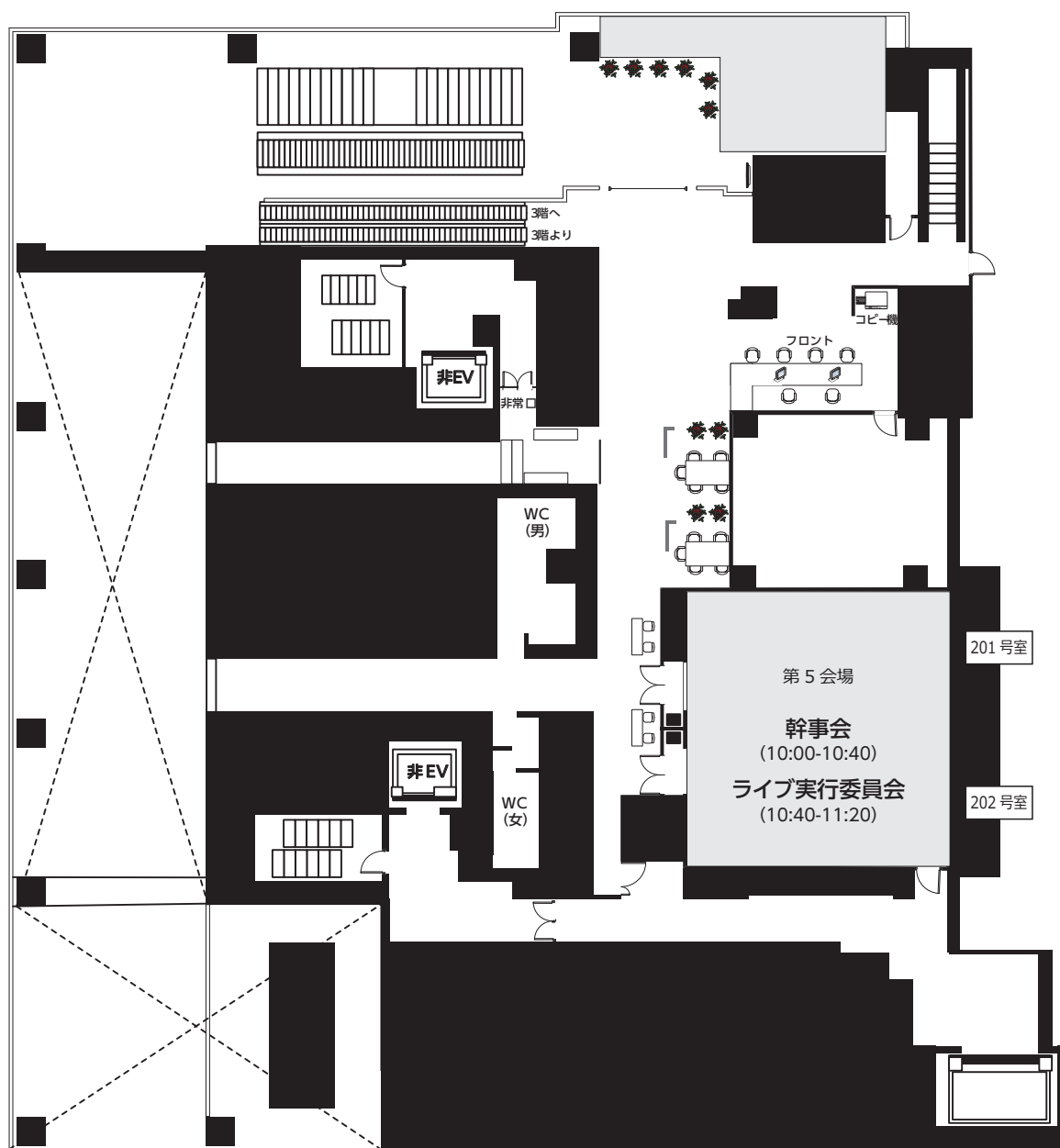
4階 会場 MAP



3階 会場 MAP



2階 会場 MAP



- ・ 幹事会 10:00-10:40 (第5会場)
- ・ ライブ実行委員会 10:40-11:20 (第5会場)
- ・ 運営委員会 11:30-12:10 (第4会場)

【ご来場について】

3F受付前にて体温チェックと手指の消毒を行い、体調チェックシートにご記入の上、【決済完了通知】を受付にご提示ください。【入場証】をお渡しいたします。

※感染症予防策と防犯上の理由から、会期中に会場受付での現金受渡しは行いませんので、必ずご来場前にホームページ (<https://kksecvit.jp/59/>) より参加登録を行ってください。

【領収書】と【参加・単位証明書】は、会期終了後にご登録いただいたメール宛にお送りいたします。

第59回日本心血管インターベンション治療学会関東甲信越地方会 2022年 5月7日(土)

■会場受付: 3階ロビー (8:30-18:00)

第1会場 (4階 ホール)		第2会場 (3階 311+2)		第3会場 (3階 301+2)	
8:30 受付開始					
8:55	開会の辞	9:00	一般演題 口演 8 【イメージング/フジロロジー1】	9:00	一般演題 口演 15 【EVT 1】
9:00	一般演題 口演 1 会長企画 1-1 【ACSインターベンションを極める1】	9:45	一般演題 口演 9 【合併症1 (冠動脈穿孔、他)】	9:45	一般演題 口演 16 【SHD】
10:00	一般演題 口演 2 会長企画 1-2 【ACSインターベンションを極める2】	10:20	一般演題 口演 10 【ステントレス/DCB】	10:20	一般演題 口演 17 【合併症3 (スタック、キング)】
11:00	教育講演 1 【共催: ニプロ株式会社】	11:00	教育講演 2 【共催: ノバルティス ファーマ株式会社】	11:00	教育講演 3 【共催: ハートフロー・ジャパン合同会社】
11:50	換気	11:50	換気	11:50	換気
12:00	ランチョンセミナー 1 【共催: アボットメディカルジャパン合同会社】	12:00	ランチョンセミナー 2 【共催: テルモ株式会社】	12:00	ランチョンセミナー 3 【共催: バイエル薬品株式会社】
12:50	換気	12:50	換気	12:50	換気
13:00	アフタヌーンセミナー 1 【共催: ポストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社】	13:00	アフタヌーンセミナー 2 【共催: 日本アビオメッド株式会社】	13:00	アフタヌーンセミナー 3 【共催: テルモ株式会社】
13:50	換気	13:50	換気	13:50	換気
14:00	一般演題 口演 3 会長企画 2 【合併症・併存疾患を持つ患者へのインターベンション】	14:00	一般演題 口演 11 【その他1 (手技の工夫)】	14:00	一般演題 口演 18 【イメージング/フジロロジー2】
15:00	一般演題 口演 4 【YIA 症例報告】	14:40	一般演題 口演 12 【CHIPインターベンション】	14:40	一般演題 口演 19 【その他3 (コイル塞栓、他)】
16:10	一般演題 口演 5 【YIA 臨床研究】	15:20	ショートレクチャー 1 【共催: プリストル・マイヤーズスクイブ株式会社】	15:20	ショートレクチャー 3 【共催: メディキット株式会社】
17:00	換気	15:50	ショートレクチャー 2 【共催: 株式会社カネカメディックス】	15:50	ショートレクチャー 4 【共催: アボットメディカルジャパン合同会社】
17:10	一般演題 口演 6 【デバルキング】	16:20	換気	16:20	換気
17:50	一般演題 口演 7 【CTO】	16:30	イブニングセミナー 1 【共催: 日本メトロニック株式会社】	16:30	イブニングセミナー 2 【共催: ポストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社】
18:30	表彰式、閉会の辞	17:20	一般演題 口演 13 【合併症2 (ステント・バルーントラブル)】	17:20	一般演題 口演 20 【CHIPインターベンション/ハイブリッド】
18:40		17:55	一般演題 口演 14 【その他2 (TAVI後PCI、他)】	17:55	一般演題 口演 21 【合併症4 (ステント血栓症、他)】
		18:35		18:35	

第4会場 (3階 303+4)

第5会場 (2階 201+2)

8:30 受付開始

9:00	コメディカル教育講演 1 ME	9:00	準備
9:50	コメディカル教育講演 2 Ns	10:00	幹事会
10:40	コメディカル教育講演 3 RT	10:40	ライブ実行委員会
11:30	運営委員会	11:20	換気
12:10	換気	12:00	ランチョンセミナー 4 【共催：エドワーズライフサイエンス株式会社】
12:20	コメディカル一般演題 1 ME	12:50	換気
12:50	換気	13:00	アフタヌーンセミナー 5 【共催：オーバスネイチメディカル株式会社】
13:00	アフタヌーンセミナー 4 【共催：ニプロ株式会社】	13:50	換気
13:50	換気	14:00	一般演題 口演 24 【EVT 2】
14:00	コメディカル一般演題 2 RT	14:50	一般演題 口演 25 【SCAD】
15:10	換気	15:40	一般演題 口演 26 【その他5 (その他)】
15:20	ショートレクチャー 5 【共催：ポストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社】	16:20	換気
15:50	ショートレクチャー 6 【共催：アムジェン株式会社】	16:30	イブニングセミナー 4 【共催：第一三共株式会社】
16:20	換気	17:20	一般演題 口演 27 【EVT 3】
16:30	イブニングセミナー 3 【共催：株式会社島津製作所】	17:55	
17:20	一般演題 口演 22 【その他4 (慢性期イベント、他)】	18:10	
17:55	一般演題 口演 23 【合併症5 (穿刺部トラブル、他)】		
18:35			

* 幹事会 10:00-10:40 (2階 第5会場)

* ライブ実行委員会 10:40-11:20 (2階 第5会場)

* 運営委員会 11:30-12:10 (3階 第4会場)

5月7日(土)

第59回日本心血管インターベンション治療学会関東甲信越地方会

[第1会場(4階ホール)]

8:55-9:00

開会の辞

第59回日本心血管インターベンション治療学会関東甲信越地方会

会長 菅野 晃靖(横浜市立大学)

9:00-10:00

口演1

会長企画 1-1: ACS インターベンションを極める1

(発表6分+質疑応答3分)

座長 伊苺 裕二(東海大学)
菅野 晃靖(横浜市立大学)
discussant 飯島 雷輔(東邦大学医療センター大橋病院)
高橋 佐枝子(湘南鎌倉総合病院)
東條 大輝(北里大学北里研究所病院)
山下 淳(東京医科大学)

[1011] 徐脈、ショックにて救急搬送され、回旋枝と右冠動脈の一次的血行再建にて救命しえた一例

¹⁾ 済生会横浜市南部病院、²⁾ 横浜市立大学附属市民総合医療センター

浅井 真成¹⁾、羽柴 克孝¹⁾、山田 優¹⁾、石川 博之¹⁾、古賀 伸太郎¹⁾、片岡 俊介¹⁾、
清國 雅義¹⁾、仲地 達哉¹⁾、猿渡 力¹⁾、木村 一雄²⁾

[1012] 冠動脈拡張症を有するACSの急性期管理にDOACが有効であった1例

神奈川県立循環器呼吸器病センター 循環器内科

児玉 翔、関井 隆介、石井 怜、木下 恵、硯川 佳祐、中山 尚貴、井口 公平、福井 和樹

[1013] 右冠動脈内の80mm長の巨大血栓をガイドエクステンションカテーテルで吸引しえた急性下壁心筋梗塞の一例

足利赤十字病院

姫野 優貴弘、沼澤 洋平、池上 翔梧、松村 聡人、渡邊 貴之、橋本 涼太、横倉 創一、
萩庭 頌、児島 秀典、田中 誠

[1014] 主要冠動脈3枝の多枝血管プラーク破綻並びに2枝の同時閉塞を認め、経皮的冠動脈形成術で救命を得た1例

聖路加国際病院 循環器内科

鈴木 隆宏、宮田 宏太郎、木島 康文、小宮山 伸之

[1015] 心原性ショックを合併した広範誘導でのST上昇型急性心筋梗塞に対して左主幹部へ血行再建を行い救命し得た一例

千葉市立青葉病院循環器内科

正司 俊博、盛 直人、竹田 雅彦、石尾 直樹、志鎌 伸昭

[1016] Impellaが著効した心原性ショックを伴う左主幹部病変が責任病変のST上昇型急性心筋梗塞の一例

武蔵野赤十字病院

照井(松山) 麻央、大方 信一郎、長瀬 将、新田 義一、渡辺 敬太、宮崎 亮一、永嶺 翔、
金子 雅一、李 哲民、野里 寿史、足利 貴志

座長 小川 崇之(東京慈恵会医科大学)
道下 一朗(横浜栄共済病院)
discussant 海老澤 聡一郎(信州大学)
車谷 容子(甲府共立病院)
沼澤 洋平(足利赤十字病院)
山崎 正雄(NTT東日本関東病院)

[1021] 36x39x36mmの巨大冠動脈瘤血栓閉塞のACSのマネジメント

¹⁾ しらさきクリニック ハートセンター、²⁾ しらさき川越クリニック ハートセンター、³⁾ しらさき蓮田クリニック、
⁴⁾ 日暮里たんのハートクリニック
白崎 泰隆¹⁾、谷口 優¹⁾、雨池 典子²⁾、多々良 彰³⁾、丹野 巡⁴⁾

[1022] 冠動脈2枝が同時に閉塞したと思われる急性心筋梗塞の1例

聖隷横浜病院
長谷川 和喜、山田 亘、宮崎 良央、福田 正、河合 慧、眞壁 英仁、中島 啓介、
乗松 東吾、新村 剛透、芦田 和博

[1023] 急性期治療方針に苦慮した2枝同時閉塞による急性下壁心筋梗塞、心原性ショック、心停止患者の一例

神奈川県立足柄上病院
久慈 正太郎、結城 翔多、木根 佑奈、近藤 愛

[1024] 救急外来で施行したコンピュータ断層撮影が治療方針に影響を与えたST上昇型急性心筋梗塞の一例

足利赤十字病院 循環器内科
田中 誠、松村 聡人、池上 翔梧、姫野 優貴弘、渡邊 貴之、横倉 創一、橋本 涼太、
萩庭 頌、児島 秀典、沼澤 洋平

[1025] STEMIに対してprimaryPCI施行後に急性ステント血栓症を発症した2例の検討

神奈川県立循環器呼吸器病センター 循環器内科
児玉 翔、関井 隆介、石井 怜、木下 恵、硯川 佳祐、中山 尚貴、井口 公平、福井 和樹

[1026] スタンフォードA型急性大動脈解離に合併した左主幹部高度狭窄に対してステント留置を行った一例

¹⁾ 帝京大学医学部附属溝口病院 循環器内科、²⁾ 帝京大学医学部附属病院 循環器内科
青柳 貴¹⁾、鈴木 伸明¹⁾、横井 樹¹⁾、木村 隆大¹⁾、池田 佳之¹⁾、高橋 慎司¹⁾、
白鳥 宜孝¹⁾、速水 紀幸¹⁾、上妻 謙²⁾

座長 唐原 悟(東京曳舟病院)
演者 芦田 和博(聖隷横浜病院)
坂倉 建一(自治医科大学附属さいたま医療センター)

12:00-12:50

ランチョンセミナー1

ACS Update

▶ 共催: アボットメディカルジャパン合同会社

座長 上妻 謙(帝京大学)
小林 欣夫(千葉大学)
演者 急性冠症候群に、なぜ XIENCE が選択されるのか
小川 崇之(東京慈恵会医科大学)
ACS Update (仮)
木村 一雄(横須賀市立市民病院)

13:00-13:50

アフタヌーンセミナー1

心原性脳塞栓症を Device で予防する新たな時代と革新的な Device の登場

▶ 共催: ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社

座長 新家 俊郎(昭和大学)
コメンテーター 原 英彦(東邦大学医療センター大橋病院)
平野 照之(杏林大学)
演者 WATCHMAN FLX™: その実力と可能性
松本 崇(湘南鎌倉総合病院)
経カテーテル左心耳閉鎖術の意義と適応について
桃原 哲也(川崎幸病院)

14:00-15:00

口演3

会長企画2: 合併症・併存疾患を持つ患者へのインターベンション (発表6分+質疑応答3分)

座長 阿古 潤哉(北里大学)
船山 大(自治医科大学)
discussant 安東 治郎(東京大学)
尾崎 和幸(新潟大学)
田邊 康宏(聖マリアンナ医科大学)
森田 有紀子(相模原病院)

[1031] 骨髄異形成症候群(MDS)を合併した急性冠症候群(ACS)の透析患者の一例

JCHO 東京新宿メディカルセンター 循環器内科

谷地 織、竹山 誠、齋藤 哲也、檜崎 容史、今村 堂大、坂本 知也、綾部 征司

[1032] 広範前壁陳旧性心筋梗塞に左室瘤、左室内血栓、多発性脳梗塞、慢性腎臓病を合併し、治療方針に苦慮したHFrEFの1例

¹⁾ 国際医療福祉大学成田病院 循環器内科、²⁾ 国際医療福祉大学成田病院 心臓外科

福岡 良磨¹⁾、藤本 善英¹⁾、中山 崇¹⁾、杉本 一将¹⁾、弓削 徳久²⁾、平山 大貴²⁾、
相澤 義泰¹⁾、杉村 宏一郎¹⁾、真鍋 晋²⁾、河村 朗夫¹⁾

[1033] 本態性血小板血症の治療経過良好な患者に発症した急性心筋梗塞の1例

千葉県済生会習志野病院

豊吉 紘之、鈴木 雅博、藤内 裕一、竹田 隆一、横山 健一、白石 博一、坂本 直哉、
小林 智

[1034] Evans症候群の急性増悪期にNSTEMIを発症して左主幹部にPCIを施行した一例

横浜市立大学附属病院循環器内科

菅原 拓哉、郷原 正臣、中山 未奈、岩田 究、小村 直弘、小西 正紹、川浦 範之、
菅野 晃靖

[1035] 外傷性肝損傷が併存した急性心筋梗塞に対して冠動脈インターベンションを施行した1例

¹⁾ 平塚市民病院 循環器内科、²⁾ 同院 救急科、³⁾ 同院 放射線診断科
片山 隆晴¹⁾、染谷 将太¹⁾、高木 俊介¹⁾、松原 隆¹⁾、葉 季久雄²⁾、金子 靖²⁾、
屋代 英樹³⁾、櫻井 亮祐³⁾

[1036] HIT抗体陽性の冠動脈三枝病変、機能性MRに対し、アルガトロバン使用下でPCI、MitraClipを施行した症例

¹⁾ 獨協医科大学病院 心臓・血管内科 / 循環器内科、²⁾ 那須赤十字病院 循環器内科
北原 慶次郎¹⁾、和久 隆太郎¹⁾、古藪 陽太¹⁾、米澤 泰¹⁾、戸倉 通彰¹⁾、景山 倫也²⁾、
西野 節¹⁾、金谷 智明¹⁾、佐久間 理吏¹⁾、阿部 七郎¹⁾、豊田 茂¹⁾

15:00-16:10

口演4

YIA 症例報告

(発表7分+質疑応答3分)

座長 上妻 謙(帝京大学)
小林 欣夫(千葉大学)
審査員 河村 朗夫(国際医療福祉大学成田病院)
桃原 哲也(川崎幸病院)
七里 守(榊原記念病院)
山口 淳一(東京女子医科大学)

[1041] 右冠動脈入口部より大動脈内へ突出したステントに対しステントを抜去し治療した一例

済生会横浜市東部病院循環器内科
香西 祐樹、小林 範弘、白井 重光、水澤 真文、牧野 憲嗣、知識 俊樹、本多 洋介、
堤 正和、毛利 晋輔、山脇 理弘、伊藤 良明

[1042] Rotawire断裂による左主幹部穿孔に対しダブルガイドシステムでカバードステントを留置してベイルアウトした症例の考察

筑波大学 医学医療系 循環器内科
平谷 太吾、石井 雄一郎、矢口 拓実、渡部 浩明、星 智也、家田 真樹

[1043] CHIP Interventionが奏功した急性冠症候群に伴う心肺停止蘇生後の1例

聖マリアンナ医科大学病院
本田 圭、御手洗 敬信、田邊 康宏、古賀 将史、奥山 和明、石橋 祐記、明石 嘉浩

[1044] OCT(Ultreon1.0)を用いることで効果的にRotablatorが可能であった高度石灰化を伴う左前下行枝近位部の労作性狭心症の1例

東邦大学医療センター大森病院
小島 至正、矢部 敬之、平野 正二郎、小松 洋介、岡 洋佑、相川 博音、松本 新吾、
野池 亮太、天野 英夫、池田 隆徳

[1045] 腹部大動脈瘤とHorizontal Aortaを併存し、アクセスサイトとTAVI弁の選択に苦慮したTSc-TAVIの1例

¹⁾ 東京大学医学部附属病院循環器内科、²⁾ 東京大学医学部附属病院心臓外科、
³⁾ 東京大学医学部附属病院麻酔科
加門 辰也¹⁾、三浦 瑞樹¹⁾、安東 治郎¹⁾、滝口 洋¹⁾、桐山 皓行¹⁾、小寺 聡¹⁾、
山内 治雄²⁾、岩切 正樹³⁾、森 芳映³⁾、武田 憲文¹⁾、小室 一成¹⁾

[1046] 繰り返えず遠位バイパスグラフト閉塞により遊離皮弁壊死に至ったCLTIに対して経皮的DVAにより救肢し得た1例

総合高津中央病院 心臓血管センター
高木 友誠、宮本 明、久原 亮二、秋田 孝子、福田 正浩、山内 靖隆

座長 中村 正人(東邦大学医療センター大橋病院)
 本江 純子(菊名記念病院)
 審査員 高野 仁司(日本医科大学)
 高山 忠輝(日本大学)
 田邊 健吾(三井記念病院)
 吉町 文暢(東海大学医学部付属八王子病院)

[1051] COVID-19パンデミックにより循環器救急搬送システムが受けた影響と改善策についての提案
 ~K-ACTIVE Registryより~

¹⁾ 聖マリアンナ医科大学 循環器内科、²⁾ 昭和大学藤が丘病院 循環器内科、
³⁾ 北里大学医学部 循環器内科学、⁴⁾ 東海大学医学部付属病院 循環器内科、
⁵⁾ 関東労災病院 循環器内科、⁶⁾ 神奈川県立循環器呼吸器病センター 循環器内科、
⁷⁾ 横浜栄共済病院 循環器内科、⁸⁾ 横浜市立大学附属市民総合医療センター 臨床検査科、
⁹⁾ 横浜市立大学附属市民総合医療センター 心臓血管センター
 御手洗 敬信¹⁾、田邊 康宏¹⁾、明石 嘉浩¹⁾、森 敬善²⁾、阿古 潤哉³⁾、伊莉 裕二⁴⁾、
 並木 淳郎⁵⁾、福井 和樹⁶⁾、道下 一朗⁷⁾、海老名 俊明⁸⁾、木村 一雄⁹⁾、鈴木 洋²⁾

[1053] 数値流体解析による血管分岐部におけるステントストラット非圧着距離が血流に与える影響調査

¹⁾ 柏厚生総合病院 循環器内科、²⁾ 東京理科大学 理工学部 機械工学科
 大屋 慶季²⁾、藤野 祐介¹⁾、塚原 隆裕²⁾

[1054] ステントストラット厚さが血流及び血管壁に及ぼす影響評価とストラット厚さの更なる薄型化がもたらす可能性

¹⁾ 柏厚生総合病院 循環器内科、²⁾ 東京理科大学 理工学部 機械工学科
 山本 大悟²⁾、藤野 祐介¹⁾、塚原 隆裕²⁾

座長 足利 貴志(武蔵野赤十字病院)
 坂倉 建一(自治医科大学附属さいたま医療センター)
 コメンテーター 田中 穰(湘南鎌倉総合病院)
 藤本 善英(国際医療福祉大学成田病院)

[1061] 粗大な不安定プラークを伴うRCAの90%ISRに対し、Excimer-Laserを用いてdistal protectionなしにdistal embolismを生じずPCIを施行しえた一例

千葉西総合病院 心臓病センター 循環器科
 岩崎 健太、三角 和雄、坂口 大和、金子 彩、春木 匠悟、佐野 拓真、葉山 泰史、
 飯塚 大介、横田 光俊、新田 正光、倉持 雄彦

[1062] Excimer Laser Coronary Angioplasty施行直後にno flowとなった不安定狭心症の一例

新潟市民病院循環器内科
 田中 孔明、中野 賢治、藤崎 真也、関谷 祐香、小柳 宣人、土谷 浩気、林 由香、
 保坂 幸男、土田 圭一、高橋 和義、小田 弘隆

[1063] 責任病変に高度石灰化を認めたNSTEMIにPOBA aloneでPCIを終え、帰室中に胸痛が再燃LOASを用いて再度PCIを施行した1例

東京都立広尾病院 循環器科
 稲垣 大、土山 高明、水沼 吉章、佐々木 高史、鯨岡 裕史、竹田 康佑、山岡 広一郎、
 新井 智之、吉田 精孝、増田 怜、深水 誠二

[1064] アクセスサイトの高度血管蛇行によりPCIに難渋した一例

藤沢湘南台病院 循環器内科

市川 大河、大野 哲、吉光寺 恵里、中村 悠城、大野 睦記、福島 裕介

17:50-18:30

口演7

CTO

(発表6分+質疑応答2分)

座長 伊藤 良明(済生会横浜市東部病院)

矢嶋 純二(心臓血管研究所付属病院)

コメンテーター 芦田 和博(聖隷横浜病院)

小堀 裕一(戸田中央総合病院)

[1071] RCA CTOならびにLAD CTOに対するPCIの際にAnte Owl WR使用によるIVUSガイド下ワイヤリングが有用であった一例

永寿総合病院 循環器内科

目瀬 亨、西村 英樹、田丸 貴規、榎本 典浩、岡田 豊

[1072] 左回旋枝のStent Jailに対しPerfusion balloonを使用し治療を行った一例

国立国際医療研究センター病院

三宅 渉、山本 純平、鳥居 俊介、久保田 修司、中川 堯、岡崎 徹、山本 正也、原 久男、廣井 透雄

[1073] Successful Retrograde Approach PCI For The Ostium of LCX Chronic Total Occlusion (CTO) via an LAD intra-diagonal collateral channel

¹⁾ 総合東京病院 循環器内科、²⁾ 東京ハートセンター

山口 幸宏¹⁾、塚原 玲子¹⁾、村松 俊哉²⁾、中野 雅嗣¹⁾、滝村 秀幸¹⁾、河野 真美¹⁾、田島 愛美¹⁾、谷口 凜太郎¹⁾

[1074] 冠動脈三枝全てに慢性完全閉塞を認める病変に対してPCIでの血行再建に成功した一例

¹⁾ 獨協医科大学日光医療センター、²⁾ 那須赤十字病院

杉山 拓史¹⁾、水口 聡¹⁾、前野 栄孝¹⁾、川本 駿¹⁾、巴 崇¹⁾、河邊 篤彦¹⁾、上野 明日香¹⁾、安 隆則¹⁾、景山 倫也²⁾

18:30~18:40

表彰式・閉会の辞

第59回日本心血管インターベンション治療学会関東甲信越地方会

会長 菅野 晃靖(横浜市立大学)

第60回日本心血管インターベンション治療学会関東甲信越地方会

会長 小川 崇之(東京慈恵会医科大学)

〔第2会場(3階 312+2)〕

9:00-9:45

口演8

イメージング／フィジオロジー1

(発表6分＋質疑応答2分)

座長 田中 信大(東京医科大学八王子医療センター)
日比 潔(横浜市立大学附属市民総合医療センター)
コメンテーター 石橋 祐記(聖マリアンナ医科大学)
樋熊 拓未(川崎市立多摩病院)

[2081] OCTガイド下でステント留置なしの2回のPCI後に急性心筋梗塞に至った一例

JA とりで総合医療センター

道下 俊希、保田 淳ノ助、秋山 洸太、金田 俊雄、松本 彩和、吉原 弘高、山本 貴信、
服部 英二郎

[2082] Erosionが原因の心筋梗塞で冠攣縮の関与が疑われた1例

昭和大学藤が丘病院

亀田 俊吾、森 敬善、谷崎 友香、手塚 隆弘、大村 歩、和田 大輔、武井 洋介、
曾根 浩元、関本 輝雄、佐藤 督忠、鈴木 洋

[2083] NIRS-IVUSにて脂質の含有が疑われた高度石灰化病変に対してカッティングバルーンで良好な拡張が得られた狭心症患者の一例

杏林大学医学部附属病院 循環器内科

山崎 博之、小山 幸平、三浦 陽平、仲 悠太郎、新名 良広、舟橋 紗耶華、福士 圭、
若林 典弘、斉藤 竜平、金剛寺 謙、副島 京子

[2085] 多種類のモダリティで虚血評価し治療に成功した安定型狭心症の1例

¹⁾ 国立病院機構相模原病院、²⁾ 横浜市立大学附属市民総合医療センター、³⁾ 横浜市立大学附属病院
栗原 直人¹⁾、大竹 諒¹⁾、福岡 雅浩¹⁾、高橋 広軌¹⁾、山本 明日香¹⁾、野田 光里¹⁾、
森田 有紀子¹⁾、日比 潔²⁾、田村 功一³⁾

9:45-10:20

口演9

合併症1(冠動脈穿孔、他)

(発表6分＋質疑応答2分)

座長 阿部 七郎(獨協医科大学)
及川 裕二(心臓血管研究所附属病院)
コメンテーター 榊原 雅義(イムス葛飾ハートセンター)
濱寄 裕司(おおたかの森病院)

[2091] 冠動脈穿孔に対してcovered stentによる止血に難渋した一例

SUBARU 健康保険組合 太田記念病院

三輪 俊介、杉本 英純、鮫島 雄佑、北野 奨真、高江洲 悟、矢口 知征、清水 貴之、
武中 宏樹、根本 尚彦、安齋 均

[2092] 左冠動脈主幹部破裂に対してカバードステントでペイルアウトし得た症例

千葉大学医学部附属病院 循環器内科

山崎 達朗、齋藤 佑一、加藤 賢、北原 秀喜、小林 欣夫

[2093] 冠動脈穿孔に対するカバードステント留置に難渋した一例

土浦協同病院循環器内科

松田 和樹、杉山 知代、左山 耕大、上野 弘貴、長嶺 竜宏、三澤 透、羽田 昌浩、
星野 昌弘、角田 恒和

[2094] **心筋梗塞に対するPCI中、ステント留置後の吸引カテーテルデバイスによるステント変形を起こした1例**

埼玉県立循環器・呼吸器病センター

松本 拓也、藤井 真也、永吉 信哉、鈴木 輝彦、宮本 敬史、武藤 誠

10:20-11:00

口演10

ステントレス／DCB

(発表6分＋質疑応答2分)

座長 佐藤 明(山梨大学)

武安 法之(茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター)

コメンテーター 岩城 卓(横浜栄共済病院)

大塚 雅人(荻窪病院)

[2101] **ST上昇型急性心筋梗塞に対し薬剤溶出性バルーンでPCIを行い、1年後冠動脈造影で再閉塞を起こし、OCTで観察した一例**

横須賀市立市民病院 循環器内科

高田 龍司、坂 賢一郎、鈴木 弘之、松本 祐介、山口 健太、石井 一帆

[2102] **スコアリング・バルーンでの心筋側への不顕性冠動脈穿孔が薬剤溶出バルーンの拡張後に顕在化した1例**

¹⁾ 川崎市立川崎病院内科・総合内科、²⁾ 川崎市立川崎病院循環器内科

原田 修平¹⁾、深江 智明¹⁾、上園 志穂¹⁾、滝口 俊一²⁾、李 慧崇²⁾、伯野 大彦²⁾、

西澤 健也²⁾、末吉 浩一郎²⁾

[2103] **病変距離の長い若年のNSTEMI症例に対しDCAを施行することで複数のステント留置を回避することが出来た症例**

¹⁾ 那須赤十字病院循環器内科、²⁾ 獨協医科大学病院心臓・血管内科 / 循環器内科

梅園 龍¹⁾、景山 倫也¹⁾、井上 莉里¹⁾、岩松 浩一¹⁾、小泉 諭¹⁾、大口 真寿¹⁾、

阿部 七郎²⁾、豊田 茂²⁾

[2104] **石灰化を伴ったステント内再狭窄の治療に長年難渋したが、Scoreflex TRIOを使用し十分な拡張が得られた一例**

東京都立墨東病院 循環器科

齊田 冠斗、黒木 識敬、長谷川 皓紀、大河内 実希子、長友 理樹、長塩 憲司、

大橋 浩一、高山 陽、安倍 大輔

11:00-11:50

教育講演2

心不全治療薬ARNIについて

▶ 共催：ノバルティスファーマ株式会社/大塚製薬株式会社

座長 佐藤 明(山梨大学)

演者 **新時代の心不全・高血圧治療薬ARNIを語り尽くす**

石井 俊輔(北里大学)

12:00-12:50

ランチョンセミナー2

New DES Evidence & Experience

▶ 共催:テルモ株式会社

座長 藤本 善英(国際医療福祉大学成田病院)
山口 淳一(東京女子医科大学)
演者 MASTER DAPT StudyからUltimasterステントのShort DAPTを考える
浅野 拓(聖路加国際病院)
Ultimaster Nagomiに期待すること
飯島 雷輔(東邦大学医療センター大橋病院)

13:00-13:50

アフタヌーンセミナー2

IMPELLA 補助循環用ポンプカテーテル “Interventional Heart Failure Therapy とは”

▶ 共催:日本アビオメッド株式会社

座長 伊莉 裕二(東海大学)
演者 Interventional Heart Failure Therapy - A New Concept Fighting Against Heart Failure
朔 啓太(国立循環器病研究センター)
実臨床における Interventional Heart Failure Therapy
田邊 康宏(聖マリアンナ医科大学)

14:00-14:40

口演11

その他1(手技の工夫)

(発表6分+質疑応答2分)

座長 尾畑 純栄(山梨大学)
黒澤 利郎(町田市民病院)
コメンテーター 河野 真美(総合東京病院)
東谷 迪昭(東京医科大学茨城医療センター)

[2111] ガイドカテーテル挿入が困難で、診断カテにて0.014GW挿入後ガイドカテーテルに交換して治療した左主幹部入口部病変の一例

大森赤十字病院 循環器内科
草野 雄己、十亀 洸基、福井 英俊、島田 基、川島 千佳、安部 開人、遠藤 悟郎、
神原 かおり、奥田 純

[2112] 高位前方起始右冠動脈における右室枝にmodified reverse wire techniqueが有用であった一例

済生会宇都宮病院循環器内科
古瀬 領人、松村 英斉、岩堀 浩也、吉島 信宏、八島 史明、森 健支、横田 裕之、
下地 顕一郎、上野 耕嗣

[2113] 側枝病変に留置したstent proximalのstrutが本幹に突出しており、その分岐部より遠位の本幹病変へのstent deliveryの際にbuddy balloon techniqueが有用であった1例

神奈川県立循環器呼吸器病センター 循環器内科
児玉 翔、関井 隆介、石井 怜、木下 恵、硯川 佳祐、中山 尚貴、井口 公平、福井 和樹

[2114] 造影剤を使用したwulvarineバルーン挿入の工夫;造影剤を使用したTIPS. “Null technique”

さいたま市立病院 循環器内科
秋間 崇、勝木 俊臣、中澤 直美、中嶋 一品、宗形 昌儒、神吉 秀明、小山 卓史

14:40-15:20

口演12

CHIP インターベンション

(発表6分+質疑応答2分)

座長 緒方 信彦(上尾中央総合病院)
小船井 光太郎(東京ベイ・浦安市川医療センター)
コメンテーター 相原 英明(筑波メディカルセンター病院)
若林 公平(昭和大学江東豊洲病院)

[2121] MDSによる三血球減少、左心機能の著しい低下を伴う重症二枝の石灰化病変に対し、Rotablatorを駆使して血行再建に成功した一例

千葉西総合病院 心臓病センター 循環器科
金子 彩、三角 和雄、坂口 大和、岩崎 健太、春木 匠悟、田口 重文、葉山 泰史、
飯塚 大介、横田 光俊、新田 正光、倉持 雄彦

[2122] 5FrガイドリングカテーテルにGUIDEPLUS TM 5Fを用いて、蛇行した左回旋枝へのステント留置に成功した一例

¹⁾ 東海大学八王子病院、²⁾ 東海大学伊勢原病院
天野 一茂¹⁾、河村 洋太¹⁾、室谷 奈那¹⁾、野田 賢史¹⁾、唐澤 由香¹⁾、長松 裕史¹⁾、
笠井 智司¹⁾、吉町 文暢¹⁾、伊莉 裕二²⁾

[2123] 右冠動脈・左回旋枝完全閉塞を伴う左前下行枝の高度狭窄に対しPCIを施行した2例

東京都健康長寿医療センター循環器内科
藤本 肇、橘 昌利、小松 俊介、村田 哲平、坪光 雄介

[2124] 心原性ショックからの離脱に困難を要した高度石灰化左冠動脈主幹部病変の一例

東邦大学医学部内科学講座 循環器内科学講座
平野 正二郎、矢部 敬之、相川 博音、坪野 雅一、岡 洋佑、小島 至正、小松 洋介、
松本 新吾、野池 亮太、天野 英夫、池田 隆徳

15:20-15:50

ショートレクチャー1

出血と血栓症のリスクバランス適正評価と治療戦略への応用

▶ 共催: ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

座長 柚本 和彦(横浜労災病院)
演者 外海 洋平(大阪大学)

15:50-16:20

ショートレクチャー2

Tackling Chronic Limb Threatening Ischemia

– Potential of combined treatment with BTK revascularization and novel therapeutic apheresis –

▶ 共催: 株式会社カネカメディックス

座長 荒木 浩(横須賀市立うわまち病院)
演者 飛田 一樹(湘南鎌倉総合病院)

16:30-17:20

イブニングセミナー1

Resolute Onyx 2.0mm 慢性期成績

▶ 共催: 日本メドトロニック株式会社

座長 上妻 謙(帝京大学)

小林 欣夫(千葉大学)

演者 2.0mm DESの適応と慢性期成績—済生会横浜市東部病院からの考察—

伊藤 良明(済生会横浜市東部病院)

ステント留置改革2.0

重城 健太郎(埼玉医科大学総合医療センター)

17:20-17:55

口演13

合併症2 (ステント・バルーントラブル)

(発表6分+質疑応答2分)

座長 高橋 稔(立川総合病院)

武藤 誠(埼玉県立循環器・呼吸器病センター)

コメンテーター 稲垣 裕(草加市立病院)

早川 直樹(国保旭中央病院)

[2131] A case of anterior NSTEMI with displacement of the 3rd generation SES

¹⁾ 総合東京病院 循環器内科、²⁾ 東京ハートセンター

山口 幸宏¹⁾、塚原 玲子¹⁾、村松 俊哉²⁾、中野 雅嗣¹⁾、滝村 秀幸¹⁾、河野 真美¹⁾、

田島 愛美¹⁾、谷口 凜太郎¹⁾

[2132] 冠動脈ステントバルーン破損によりステント留置・回収不能となり、ダブルガイドとスネアで回収を得たACSの一例

横須賀市立うわまち病院循環器内科

吉田 稔、黒木 茂、岡田 拓也、荒木 浩、加藤 聡、前田 幸佑、泊口 哲也、島村 浩正、水政 豊、岩澤 孝昌、沼田 裕一

[2133] バルーン破裂によってバルーンカテーテルが抜去困難となりbail outに難渋した1例

¹⁾ 横浜市立大学附属市民総合医療センター 心臓血管センター、

²⁾ 横浜市立大学医学部 循環器・腎臓・高血圧内科学教室

桐ヶ谷 英邦¹⁾、岡田 興造¹⁾、南本 祐吾¹⁾、木村 裕一郎¹⁾、松澤 泰志¹⁾、岩橋 徳明¹⁾、

日比 潔¹⁾、木村 一雄¹⁾、田村 功一²⁾

[2134] 大動脈高度屈曲のためガイドカテ内でステントが損壊した症例

¹⁾ 横浜南共済病院 循環器内科、²⁾ 東京医科歯科大学 循環器内科

藤井 洋之¹⁾、宮崎 紘子¹⁾、張 峻模¹⁾、三須 彬生¹⁾、立石 遼¹⁾、山口 正男¹⁾、

山上 洋介¹⁾、木村 茂樹¹⁾、清水 雅人¹⁾、鈴木 誠¹⁾、笹野 哲郎²⁾

17:55-18:35

口演14

その他2 (TAVI後PCI、他)

(発表6分+質疑応答2分)

座長 大野 洋平(東海大学)

松村 昭彦(亀田総合病院)

コメンテーター 唐原 悟(東京曳舟病院)

武藤 光範(菊名記念病院)

[2141] 治療に難渋したTAVI後PCIの一例

¹⁾ 三愛病院、²⁾ 帝京大学医学部付属病院 循環器内科

大熊 慧¹⁾、渡邊 雄介²⁾、行光 望¹⁾、中田 晃孝¹⁾

- [2142] **アプローチ部位を変更することで右冠動脈病変へのカテーテルインターベンションが可能となった自己拡張型経カテーテル大動脈弁置換術後患者の一例**
 藤沢市民病院 循環器内科
 前島 信彦、相澤 広太郎、児玉 亜希子、宮川 秀一、岡島 裕一、高野 桂子、三橋 孝之、塚原 健吾
- [2143] **右冠尖からの起始異常を認めた回旋枝狭窄病変に対してPCIを施行した一例**
 湘南鎌倉総合病院 循環器科
 佐藤 大介、穴戸 晃基、山口 昌志、森山 典晃、飛田 一樹、松本 崇、山中 太、水野 真吾、田中 穰、高橋 佐枝子、齋藤 滋
- [2144] **buddy wireによりbackupを高めることに成功した、backupの重要性を改めて痛感させられたACSに対するPCIの一例**
 獨協医科大学病院 心臓・血管内科 / 循環器内科
 和久 隆太郎、篠田 雄平、飯田 圭太生、北原 慶次郎、米澤 泰、戸倉 通彰、西野 節、金谷 智明、佐久間 理吏、阿部 七郎、豊田 茂

〔 第3会場(3階 301+2) 〕

9:00-9:45

口演15
EVT 1

(発表6分+質疑応答2分)

座長 太田 洋(板橋中央総合病院)
 宮下 裕介(長野赤十字病院)
 コメンテーター 久原 亮二(総合高津中央病院)
 仲間 達也(東京ベイ・浦安市川医療センター)

- [3151] **致死的な経過を辿った薬剤溶出性ステント閉塞による下肢治療後の一症例**
 湘南鎌倉総合病院 循環器科
 飛田 一樹、小山 瑛司、玉城 優介、宮下 紘和、山下 享芳、齋藤 滋
- [3152] **重症下肢虚血(CLI)患者に対し下肢逆行性静脈バイパス(DVA)を行い肺高血圧となった1例**
 SUBARU 健康保険組合太田記念病院 循環器内科
 鮫島 雄祐、安齋 均、北野 奨真、高江洲 悟、矢口 知征、清水 貴之、佐原 尚彦、武中 宏樹、根本 尚彦
- [3153] **BK治療時のslow flowに対してVIP(Vasodilator Injection using with dilated OTW balloon for slow flow Phenomenon)法が奏功した1例**
 済生会横浜市東部病院
 合田 秀太郎、毛利 晋輔、伊藤 良明、山脇 理弘、小林 範弘、平石 真奈、堤 正和、本多 洋介、牧野 憲嗣、水澤 真文、白井 重光
- [3154] **膝窩動脈からの逆行性ワイヤリングで大腿動脈・大腿静脈シャントを合併するも血行再建に成功した高齢女性CLTIの一例**
¹⁾ 横須賀市立うわまち病院循環器内科、²⁾ 東京ベイ浦安市川医療センター循環器内科
 荒木 浩¹⁾、本田 雅希²⁾、加藤 聡¹⁾、吉田 稔¹⁾、前田 幸佑¹⁾、岡田 拓也¹⁾、泊口 哲也¹⁾、島村 浩正¹⁾、水政 豊¹⁾、黒木 茂¹⁾、岩澤 孝昌¹⁾

[3155] 膝窩動脈瘤に対してVIABAHNを留置した二例

横浜市立大学附属病院循環器内科

郷原 正臣、菅原 拓哉、中山 未奈、岩田 究、小村 直弘、小西 正紹、川浦 範之、菅野 晃靖

9:45-10:20

口演16

SHD

(発表6分+質疑応答2分)

座長 林田 健太郎(慶應義塾大学)

原 英彦(東邦大学医療センター大橋病院)

コメンテーター 荒井 隆秀(埼玉医科大学国際医療センター)

山脇 理弘(済生会横浜市東部病院)

[3161] ショック・多臓器不全を呈した重症大動脈弁狭窄症に対し急性期にBAVを行い二期的にTAVIを施行した1例

¹⁾ 横浜市立大学附属市民総合医療センター 心臓血管センター内科、

²⁾ 横浜市立大学附属市民総合医療センター 心臓血管センター外科、

³⁾ 横浜市立大学医学部循環器・腎臓内科学

菊地 進之介¹⁾、日比 潔¹⁾、南本 祐吾¹⁾、長 知樹²⁾、寺坂 謙吾¹⁾、岩橋 徳明¹⁾、内田 敬二²⁾、田村 功一³⁾、木村 一雄¹⁾

[3162] 心尖部肥大型心筋症を合併した心房中隔欠損症にバルーン閉鎖試験を行った結果、閉鎖を断念した一例

¹⁾ 公益財団法人日本心臓血圧研究振興会附属 榊原記念病院 循環器内科、

²⁾ 公益財団法人日本心臓血圧研究振興会附属 榊原記念病院 小児循環器科、

³⁾ 公益財団法人日本心臓血圧研究振興会附属 榊原記念病院

四倉 玲¹⁾、佐地 真育¹⁾、泉 佑樹¹⁾、高見澤 格¹⁾、寺田 舞¹⁾、吉敷 香奈子²⁾、矢崎 愉²⁾、七里 守¹⁾、高山 守正¹⁾、磯部 光章³⁾

[3163] 経食道心エコーreal time MultiVue™機能を活用しMitra Clip留置を施行したP3逸脱による重症僧帽弁閉鎖不全症の一例

川崎幸病院 川崎心臓病センター 循環器内科

大西 隆行、板倉 大輔、門間 周、木村 隆大、和田 真弥、佐々木 法常、安藤 智、齋藤 直樹、高橋 英雄、福富 基城、羽鳥 慶、福永 博、桃原 哲也、有田 武史

[3164] Transcatheter heart valveのmigrationをbail outした一例

立川総合病院 循環器内科

松尾 佑治、高橋 稔、北村 美樹、秋山 裕一郎、佐藤 光希、那須野 暁光、布施 公一、藤田 聡、池田 佳生、北澤 仁、岡部 正明

10:20-11:00

口演17

合併症3 (スタック、キンク)

(発表6分+質疑応答2分)

座長 青木 直人(千葉メディカルセンター)

藤田 英雄(自治医科大学附属さいたま医療センター)

コメンテーター 河口 廉(群馬県立心臓血管センター)

藤井 洋之(横浜南共済病院)

[3171] Diamondbackがスタックしてstentがめくれてbail outした一例

相模原協同病院

田宮 青滋、渡辺 友樹、石崎 祐弥、土居 祥子、吉澤 智治、杉本 篤彦、井關 治和

[3172] 高度石灰化病変にOCTがスタックして抜去困難となった一例

東京蒲田病院 循環器内科

不破 貴史、真壁 伸、山岸 正、簗 義仁、小山 豊、井上 直人

[3173] 橈骨動脈ループにより6Fr Glidesheath Slenderがキンクした一例

横浜市立大学附属病院循環器内科

郷原 正臣、菅原 拓哉、中山 未奈、岩田 究、小村 直弘、小西 正紹、川浦 範之、菅野 晃靖

[3174] ガイドカテーテルのキンクに対して非侵襲的な方法で解除に成功した一例

横浜栄共済病院 循環器内科

高木 宗兵、上原 征洋、大島 祐太郎、浅田 俊樹、蒲生 忠継、岩城 卓、野末 剛、道下 一朗

11:00-11:50

教育講演3

New Change, New Standard – FFR_{CT} 先行施設から学ぶー

▶ 共催:ハートフロー・ジャパン合同会社

座長 上妻 謙(帝京大学)

七里 守(榊原記念病院)

演者 **三井Standard: FFRCT300症例の経験**

小宮山 浩大(三井記念病院)

石灰化のNew Standard: FFRCTでの診療

下地 顕一郎(済生会宇都宮病院)

12:00-12:50

ランチョンセミナー3

▶ 共催:バイエル薬品株式会社

座長 石井 秀樹(群馬大学)

演者 **抗凝固療法と動脈硬化～基礎研究の知見から～**

前嶋 康浩(東京医科歯科大学)

安定冠動脈疾患合併AF患者への抗血栓療法～AFIRE試験～

松澤 泰志(横浜市立大学附属市民総合医療センター)

13:00-13:50

アフタヌーンセミナー3

New value for EVT with Entry Site Management & Imaging

▶ 共催:テルモ株式会社

座長 安齋 均(SUBARU健康保険組合 太田記念病院)

鈴木 健之(東京都済生会中央病院)

演者 **新たなアプローチとImaging Deviceを日常のEVTに取り入れる**

早川 直樹(国保旭中央病院)

OFDIを用いた新たなEVTの世界

滝村 英幸(総合東京病院)

口演18

イメージング／フィジオロジー2

(発表6分＋質疑応答2分)

座長 新家 俊郎(昭科大学)
高木 厚(埼玉県済生会川口総合病院)
コメンテーター 木村 茂樹(横浜南共済病院)
児玉 隆秀(虎の門病院)

[3181] 器質化血栓が原因と考えられる早期のステント再狭窄が見られた一例

聖隷横浜病院 心臓血管センター内科

新村 剛透、芦田 和博、中島 啓介、河合 慧、山田 亘、福田 正、長谷川 和喜

[3182] 冠動脈高度狭窄病変内を貫通したワイヤーを冠動脈造影および血管内超音波で観察し、血行再建し得た一例

¹⁾ 日本医科大学付属病院 循環器内科、²⁾ 日本医科大学付属病院 心臓血管集中治療科

小山 賢太郎¹⁾、塩村 玲子²⁾、田中 匡成²⁾、星加 優²⁾、澁谷 淳介²⁾、松田 淳也²⁾、
中田 淳²⁾、宮地 秀樹²⁾、山本 剛²⁾、清水 渉¹⁾、高野 仁司¹⁾

[3183] CABGから4年経過した維持透析症例のSVG病変をNIRS-IVUS、血管内視鏡にて観察した一例

新潟大学医歯学総合病院 循環器内科

米山 晋太郎、秋山 琢洋、久保田 直樹、大久保 健志、木村 新平、保屋野 真、
柳川 貴央、尾崎 和幸、猪又 孝元

[3184] 呼吸により安静時指標の測定値が大きく変動した1例

東京医科大学八王子医療センター

永松 侑樹、池田 和正、高木 竜、可児 純也、大嶋 桜太郎、外間 洋平、田中 信大

口演19

その他3 (コイル塞栓、他)

(発表6分＋質疑応答2分)

座長 磯村 直栄(昭科大学横浜市北部病院)
鈴木 洋(昭科大学藤が丘病院)
コメンテーター 清水 茂雄(災害医療センター)
土井尻 達紀(大和成和病院)

[3191] 冠動脈バイパス瘤に対し、コイル塞栓術を施行した一例

¹⁾ 小田原市立病院循環器内科、²⁾ 小田原市立病院心臓血管外科、³⁾ 小田原市立病院脳神経外科

松田 泰紀¹⁾、弓削 大¹⁾、東谷 浩一¹⁾、成毛 崇¹⁾、根本 照世志¹⁾、堀口 愛¹⁾、
橋村 美保¹⁾、川口 竹男¹⁾、石川 智啓²⁾、畠田 和嘉²⁾、山中 祐路³⁾

[3192] 左冠動脈-右房瘻に対してカテーテル的塞栓術を施行した一例

¹⁾ 筑波メディカルセンター病院 循環器内科、²⁾ 筑波メディカルセンター病院 放射線科

桑山 明宗¹⁾、古西 崇寛²⁾、仁科 秀崇¹⁾、椎貝 真成²⁾、野口 祐一¹⁾

[3193] 心筋梗塞急性期のPCI後にTIMI flow grade 0を呈し、非責任病変のstaged PCIでもslow flowを呈した症例

湘南鎌倉総合病院循環器科

山口 昌志、穴戸 晃基、杉山 耀一、玉城 優介、森山 典晃、飛田 一樹、松本 崇、
山中 太、田中 稷、高橋 佐枝子、齋藤 滋

[3194] 右冠動脈の高度屈曲、アコーディオン現象により急性期をバルーン形成術でペイルアウトし、2期的治療を要した急性心筋梗塞の一例

神奈川県立足柄上病院

久慈 正太郎、結城 翔多、木根 佑奈、近藤 愛

15:20-15:50

ショートレクチャー3

Diamondback OAS

▶ 共催:メディキット株式会社

座長 緒方 信彦(上尾中央総合病院)

演者 **Diamondbackを制御し石灰化病変に挑む!**

菅野 晃靖(横浜市立大学)

15:50-16:20

ショートレクチャー4

冠微小循環障害 Update

▶ 共催:アボットメディカルジャパン合同会社

座長 嵐 弘之(東京女子医科大学)

演者 山中 太(湘南鎌倉総合病院)

16:30-17:20

イブニングセミナー2

石灰化・非石灰化病変に対する Optimal Treatment

▶ 共催:ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社

座長 小川 崇之(東京慈恵会医科大学)

田中 穰(湘南鎌倉総合病院)

演者 **いま、Wolverineを選択する理由**

萩谷 健一(榊原記念病院)

Wolverine Cutting Balloonの効果的な使い方

木村 郷(水戸ブレインハートセンター)

17:20-17:55

口演20

CHIP インターベンション/ハイブリッド

(発表6分+質疑応答2分)

座長 石井 秀樹(群馬大学)

重城 健太郎(東京女子医科大学東医療センター)

コメンテーター 岡崎 真也(順天堂大学)

田口 功(獨協医科大学埼玉医療センター)

[3201] 大動脈弁置換術後に発症した左冠動脈主幹部の急性心筋梗塞に対してPCIを施行し、超遅発性ステント内血栓症を生じた1例

心臓血管研究所付属病院

岸上 大輝、松野 俊介、堀 光一郎、田畑 達也、岸 幹夫、嘉納 寛人、及川 裕二、

矢嶋 純二

[3202] 急性肺水腫、心原性ショックを伴った前壁STEMIの高度石灰化、屈曲を伴うLAD病変の急性閉塞に対し、IABP下、ad hoc Rotablatorが有用であった一例

千葉西総合病院 心臓病センター 循環器科

坂口 大和、三角 和雄、岩崎 健太、金子 彩、春木 匠悟、佐野 拓真、葉山 泰史、

飯塚 大介、横田 光俊、新田 正光、倉持 雄彦

[3203] 右室梗塞や後乳頭筋断裂による重症僧帽弁逆流を併発した心原性ショックを呈する下壁梗塞に対しImpella及びVA ECMOが有効であった一例

川崎幸病院 川崎心臓病センター 循環器内科

大西 隆行、板倉 大輔、門間 周、木村 隆大、和田 真弥、佐々木 法常、安藤 智、齋藤 直樹、高橋 英雄、福富 基城、羽鳥 慶、福永 博、桃原 哲也

[3204] VT stormに対してECPELLAを導入後に待機的にCABGとPCIのハイブリッド手術を行った重症虚血性心不全の一例

¹⁾ 筑波メディカルセンター病院循環器内科、²⁾ 筑波メディカルセンター病院心臓血管外科

寺内 泰観¹⁾、相原 英明¹⁾、桑山 明宗¹⁾、越智 明德¹⁾、高岩 由¹⁾、會田 敏¹⁾、秋山 大樹¹⁾、仁科 秀崇¹⁾、文蔵 優子¹⁾、野口 祐一¹⁾、逆井 佳永²⁾

17:55-18:35

口演21

合併症4 (ステント血栓症、他)

(発表6分+質疑応答2分)

座長 大西 祐子(平塚共済病院)

松陰 崇(埼玉医科大学総合医療センター)

コメンテーター 塚原 健吾(藤沢市民病院)

藤田 雅樹(江戸川病院)

[3211] 待機的PCI中に急性ステント血栓症を発症しクロピドグレル不応症と診断した抗リン脂質抗体症候群の一例

東京医科大学病院 循環器内科

笠原 智大、山下 淳、伊藤 亮介、小松 一貴、村田 直隆、近森 泰四郎

[3212] PCI中にHITによる急性ステント閉塞を認め早急なアルガトロバン投与によりbail outした1例

昭和大学横浜市北部病院

石垣 成紘、井川 渉、木村 太郎、齋藤 惇平、小野 盛夫、木戸 岳彦、荏原 誠太郎、岡部 俊孝、山本 明和、磯村 直栄、落合 正彦

[3213] 初回PCI後に短時間で再閉塞をきたし2回目のPCIを要したACSにて、シースの一部が血管内に迷入遺残し経カテーテル的に回収できた一例

秦野赤十字病院 循環器内科

小嶋 寛之、長谷川 文哉、泊 咲江、大山 剛、澤田 玲民

[3214] 胸部大動脈瘤に対するTEVAR後慢性期に発症した出血源不明の仮性動脈瘤に対して瘤内からの逆行性造影にて出血源を診断し得た一例

¹⁾ 武蔵野赤十字病院 循環器科、²⁾ 武蔵野赤十字病院 心臓血管外科、

³⁾ 武蔵野赤十字病院 放射線科

長瀬 将¹⁾、松山 麻央¹⁾、大方 信一郎¹⁾、宮崎 亮一¹⁾、李 哲民¹⁾、野里 寿史¹⁾、足利 貴志¹⁾、横山 賢司²⁾、田崎 大²⁾、吉崎 智也²⁾、竹口 隆也³⁾

〔第4会場(3階 303+4)〕

9:00-9:50

コメディカル教育講演1(ME) ECPELLAについて理解を深める

座長 村澤 孝秀(東京大学医学部附属病院)
演者 岩崎 麻里絵(済生会熊本病院)

9:50-10:40

コメディカル教育講演2(Ns) ABLにおける持続鎮静管理中の看護

座長 鈴木 敦子(自治医大さいたま医療センター)
演者 知識 亜紀子(葉山ハートセンター)

10:40-11:30

コメディカル教育講演3(RT) よくわかる冠動脈造影基礎講座

座長 先山 耕史(昭和大学横浜市北部病院)
演者 陣野 豊(横浜市立大学附属病院)

12:20-12:50

コメディカル一般演題1 (ME)

(発表7分+質疑応答2分)

座長 山崎 隆文(亀田総合病院)

[C011] オクルージョンカテーテルを使用し血管内視鏡を施行した経験

¹⁾ 行徳総合病院 循環器内科、²⁾ 行徳総合病院 臨床工学科、³⁾ 行徳総合病院 放射線科
細谷 涼太²⁾、矢野 英人¹⁾、加藤 義紘¹⁾、磯崎 桂太郎¹⁾、前川 聡¹⁾、光武 良亮¹⁾、
杉本 祥三²⁾、生野 拓哉²⁾、伊藤 達弘²⁾、石川 貴一²⁾、佐藤 順一³⁾

[C012] SHD治療用デバイスカート作成への取り組み

¹⁾ 済生会横浜市東部病院・臨床工学部、²⁾ 済生会横浜市東部病院・循環器内科
佐野 恵理佳¹⁾、伊藤 徹郎¹⁾、島田 一生¹⁾、本間 俊哉¹⁾、成田 匠¹⁾、伊藤 良明²⁾、
山脇 理弘²⁾、本多 洋介²⁾、牧野 憲嗣²⁾、中野 孝英²⁾、香西 祐樹²⁾

[C013] 当院におけるDESの成績調査

千葉西総合病院 臨床工学科
池田 杏蒔、渡部 惇、屋種 華帆、小島 直希、長島 琴美、見目 貴哉、青木 始、
上澤 翔、小林 大輔、金子 健二、林 貞治

13:00-13:50

アフタヌーンセミナー4

“Ultra Thin Sturt DES” Coroflex ISAR NEOの可能性

▶ 共催:ニプロ株式会社

座長 岡崎 真也(順天堂大学医学部附属順天堂医院)
演者 Coroflex ISAR NEO～模擬血管モデル実験からの考察～
岩淵 成志(琉球大学)
Coroflex ISAR Neoの使用経験
藍原 和史(群馬大学)

コメディカル一般演題2 (RT)

(発表7分+質疑応答2分)

座長 石橋 智通(筑波メディカルセンター病院)
大築 慎一(済生会宇都宮病院)

[C021] 連日の冠動脈造影検査で判明したSTEMI症例

¹⁾ 埼玉県立循環器・呼吸器病センター 放射線技術部、
²⁾ 埼玉県立循環器・呼吸器病センター 循環器内科
田島 修¹⁾、阿古 健人¹⁾、鈴木 輝彦²⁾、藤井 真也²⁾、宮本 敬史²⁾、武藤 誠²⁾

[C022] 当院におけるCOVID-19患者のカテーテル検査対応

横浜市立大学附属病院
山岡 広樹、榎本 浩二、陣野 豊、望月 秀一、石川 栄二

[C023] 高線量被ばく症例に対する当院の取り組み

横浜市立大学附属病院
陣野 豊、榎本 浩二、望月 秀一、石川 栄二

[C024] 血管撮影室スタッフにおける体験型放射線防護教育を取り入れた被ばく低減の取り組み

¹⁾ 公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター 放射線部、
²⁾ 公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター 心臓血管センター
長尾 健¹⁾、山口 聖¹⁾、浅川 久¹⁾、塩入 知子¹⁾、櫻田 尚武¹⁾、坂野 智一¹⁾、
廣野 圭司¹⁾、岡田 興造²⁾、日比 潔²⁾

[C025] DRLs2020に基づく線量管理のための記録システムの構築

信州大学医学部附属病院 放射線部
小松 晃大、宮川 潤、田丸 尚道、和田 智行

[C026] 冠動脈診断における造影剤希釈の試み

¹⁾ 横浜旭中央総合病院 循環器科、²⁾ 横浜旭中央総合病院 放射線科
三浦 久典²⁾、佐藤 陽¹⁾、五明 武喜²⁾、澤田 正和²⁾、緒方 健一²⁾

[C027] 当院におけるDVX株式会社制自動造影剤注入装置RAQUOSインジェクションシステムの使用状況

立川総合病院放射線科
椎谷 賢、富永 真和、黒崎 優、春谷 正浩、渡辺 功、安澤 武志、酒井 悠、佐野 広晃、
神保 康幸、本間 達、歌 重輝

ショートレクチャー5

DCBとDESの使い分け～Femoropopliteal Lesionに対する治療戦略 DCB? Or DES?

▶ 共催:ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社

座長 毛利 晋輔(済生会横浜市東部病院)
演者 御手洗 敬信(聖マリアンナ医科大学)

15:50-16:20

ショートレクチャー6

ACSの再発予防における脂質管理

▶ 共催:アムジェン株式会社

座長 猿渡 力(済生会横浜市南部病院)
演者 岡田 興造(横浜市立大学附属市民総合医療センター)

16:30-17:20

イブニングセミナー3

選ばれる血管撮影装置Trinias～術者、スタッフ、患者へ寄り添った装置～

▶ 共催:株式会社島津製作所

座長 船田 竜一(北関東循環器病院)
松野 俊介(心臓血管研究所病院)
演者 Triniasを導入してみた!@深谷赤十字病院
関口 誠(深谷赤十字病院)
complex PCIにおけるTriniasの有用性
三軒 豪仁(博慈会記念総合病院)

17:20-17:55

口演22

その他4(慢性期イベント、他)

(発表6分+質疑応答2分)

座長 猿渡 力(済生会横浜市南部病院)
下地 顕一郎(済生会宇都宮病院)
コメンテーター 原 久男(国立国際医療研究センター病院)
米津 太志(東京医科歯科大学)

[4221] スtentが重複部位で破断し血管壁損傷を生じた一例

国立病院機構 高崎総合医療センター

村田 智行、大駒 直也、柴田 悟、羽鳥 直樹、久野 貴弘、高橋 伸弥、小林 洋明、
福田 延昭、広井 知歳

[4222] 病態の把握に難渋した超遅発性stent血栓症の一例

¹⁾ 防衛医科大学校 循環器内科、²⁾ 東大和病院 循環器科

前川原 慧則¹⁾、加藤 隆一²⁾、大山 亮²⁾、吉野 千代²⁾、吉田 善紀²⁾、石野 光則²⁾、
足立 健¹⁾

[4223] 第3世代薬剤溶出性stent留置後にperi-stent contrast staining(PSS)がみられた1例

¹⁾ 茅ヶ崎市立病院 循環器内科、²⁾ 横浜市立大学附属病院 循環器・腎臓・高血圧内科学

所 卓見¹⁾、中戸川 知頼¹⁾、北島 駿¹⁾、高倉 美登里¹⁾、宮崎 敬大¹⁾、望月 孝俊¹⁾、
田村 功一²⁾

[4224] 超高齢CKD患者の虚血性心不全に対しIVUS-guide下minimum contrast PCIを施行し腎機能の温存と心不全改善を得られた一例

JAとりで総合医療センター 循環器内科

保田 惇ノ介、秋山 洸太、道下 俊希、金田 俊雄、松本 彩和、吉原 弘高、山本 貴信、
服部 英二郎

17:55-18:35

口演23

合併症5 (穿刺部トラブル、他)

(発表6分+質疑応答2分)

座長 加藤 隆一(東大和病院)
袖本 和彦(横浜労災病院)
コメンテーター 奥田 純(大森赤十字病院)
後藤 亮(秀和総合病院)

- [4231] **腹部大動脈狭窄症のため左上肢からIABPを留置し、シース抜去後に血栓性閉塞を認めた一例**
日本鋼管病院
大倉 武、細川 哲、辻畑 志帆子、斎藤 丈、李 慧玲、酒井 哲郎
- [4232] **パークローズによる感染性動脈瘤に対して外科的治療を要した一例**
立正佼成会附属俊成病院
今村 泰崇、尹 星恵、金谷 允博、百瀬 裕一、神島 一帆、高昌 秀安、鈴木 和仁
- [4233] **VTアブレーション後、Perclose ProGlideによる静脈止血により穿刺部に深部静脈血栓を発症した一例**
国際医療福祉大学三田病院 心臓血管センター
矢田 浩崇、山田 健太、田村 祐大、谷口 浩久、岩澤 仁、田村 雄一、栗田 康生、
古川 佳子、朝倉 恵子
- [4234] **亜急性心筋梗塞治療後遠隔期に生じた左室仮性瘤の一例**
¹⁾ 東京大学医学部附属病院循環器内科、²⁾ 東京大学医学部附属病院心臓外科
廣瀬 和俊¹⁾、皆月 隼¹⁾、福山 真史¹⁾、小寺 聡¹⁾、安藤 政彦²⁾、木下 修²⁾、
武田 憲文¹⁾、安東 治郎¹⁾、小野 稔²⁾、小室 一成¹⁾

[第5会場 (3階 201+2)]

12:00-12:50

ランチョンセミナー4

TAVI適応患者の多様化～治療戦略の最適化とTAVIの可能性

▶ 共催: エドワーズライフサイエンス株式会社

座長 林田 健太郎(慶応義塾大学)
演者 ライフタイムマネジメントを考慮したデバイス選択
水谷 有克子(獨協医科大学埼玉医療センター)
TAVI透析患者の治療成績と今後の展望
樋口 亮介(榊原記念病院)

13:00-13:50

アフタヌーンセミナー5

EPC Capture coating COMBO Stent ～臨床的観点から～

▶ 共催: オーバスネイチメディカル株式会社

座長 及川 裕二(心臓血管研究所附属病院)
演者 COMBO Plusに期待すること
景山 倫也(那須赤十字病院)
COMBOを留置した症例から、COMBOの適応について検討する
野池 亮太(東邦大学医療センター大森病院)

口演24
EVT 2

(発表6分+質疑応答2分)

座長 安齋 均 (SUBARU健康保険組合 太田記念病院)
中野 雅嗣 (総合東京病院)
コメンテーター 岩田 曜 (船橋市立医療センター)
金剛寺 謙 (杏林大学)

[5241] **uncovered self-expandable nitinol stentsで良好な転帰を得た血栓閉塞型および偽腔開存型を有する両側性特発性外腸骨動脈解離の1例**

山梨県立中央病院 循環器内科

清水 琢也、梅谷 健、江口 実佑、川口 直紀、市川 優真、石川 諒太郎、深澤 洸樹、
矢野 利明、牧野 有高、佐野 圭太、中村 政彦

[5242] **前脛骨動脈の血栓閉塞病変に対して6Frガイドングカテーテルによる吸引が奏功した一例**

東邦大学大森病院循環器内科

小松 洋介、村田 道人、坪野 雅一、平野 正二郎、小島 至正、岡 洋祐、相川 博音、
松本 新吾、野池 亮太、矢部 敬之、天野 英夫

[5243] **グリグリ君が有効であったVAIVTの一例**

横浜市立大学附属病院循環器内科

郷原 正臣、菅原 拓哉、中山 未奈、岩田 究、小村 直弘、小西 正紹、川浦 範之、
菅野 晃靖

[5244] **上腕動脈仮性動脈瘤に対して2回のEVTを必要とした一例**

湘南鎌倉総合病院

小山 瑛司、飛田 一樹、玉城 優介、宮下 紘和、森山 典晃、斎藤 滋

[5245] **間欠性跛行に対して人工血管によるFPバイパス後に、吻合部遠位部位の新規狭窄病変が発生、同部位に対しSUPERAステントで治療し経過良好であった一例**

¹⁾ 横須賀市立うわまち病院循環器内科、²⁾ 横須賀市立うわまち病院心臓血管外科

黒木 茂¹⁾、中田 弘子²⁾、吉田 稔¹⁾、前田 幸佑¹⁾、岡田 拓也¹⁾、島村 浩正¹⁾、
泊口 哲也¹⁾、水政 豊¹⁾、荒木 浩¹⁾、岩澤 孝昌¹⁾、沼田 裕一¹⁾

口演25
SCAD

(発表6分+質疑応答2分)

座長 興野 寛幸 (行田総合病院)
森 文章 (横浜医療センター)
コメンテーター 野里 寿史 (武蔵野赤十字病院)
前島 信彦 (藤沢市民病院)

[5251] **冠動脈造影後に急激に増悪した高度屈曲を伴う特発性冠動脈解離に対してステント治療を施行した一例**

さいたま市立病院

勝木 俊臣、宗形 昌儒、中澤 直美、中嶋 一晶、秋間 崇、神吉 秀明、小山 卓史

[5252] **左冠動脈主幹部から前下行枝に特発性冠動脈解離をきたした一例**

千葉県済生会習志野病院

豊吉 紘之、鈴木 雅博、藤内 裕一、竹田 隆一、横山 健一、白石 博一、坂本 直哉、
小林 智

- [5253] **特発性冠動脈解離をβ遮断薬等の保存的加療で管理し、経時的な血管内イメージングにより治癒を確認できた一例**
¹⁾ 大和市立病院 循環器内科、²⁾ 北里大学医学部 循環器内科学
 瀧上 悠¹⁾、柿崎 良太¹⁾、小林 周平¹⁾、今木 隆太¹⁾、阿古 潤哉²⁾
- [5254] **急性心筋梗塞を発症し、診断およびwiringに苦慮した中年男性の特発性冠動脈解離の1例**
 国家公務員共済組合連合会三宿病院
 西田 尚史、中澤 亮太、人見 泰弘、田原 舞、潟手 庸道、木村 豊和
- [5255] **IVUS下での造影により特発性冠動脈解離と診断し、経皮的冠動脈形成術を施行した一例**
 独立行政法人国立病院機構埼玉病院 循環器内科
 矢野 修平、小野 智彦、佐々木 賢二、佐藤 篤志、丹羽 直哉、田中 宏明、徳田 華子、鶴見 昌史、矢嶋 紀幸、松村 圭祐、鈴木 雅裕

15:40-16:20

口演26

その他5 (その他)

(発表6分+質疑応答2分)

座長 福井 和樹(神奈川県立循環器呼吸器病センター)
 増田 尚己(上尾中央総合病院)
 コメンテーター 下浜 孝郎(北里大学)
 牧野 有高(山梨県立中央病院)

- [5261] **蜂刺傷によるアナフィラキシーショック後に急性心筋梗塞を発症し、Kounis症候群と判断した症例**
¹⁾ 飯田市立病院 循環器内科、²⁾ 飯田市立病院 皮膚科、³⁾ 諏訪赤十字病院
 平林 正男^{1,3)}、赤沼 博¹⁾、辻中 佑介¹⁾、毛涯 秀一¹⁾、上島 彩子¹⁾、片桐 有一¹⁾、山本 一也¹⁾、鈴木 里香²⁾
- [5262] **心室期外収縮に対するカテーテルアブレーション術中の心電図変化及び胸部症状が契機で診断された冠動脈高度狭窄の一例**
 東京慈恵会医科大学 循環器内科
 横山 正明、小川 崇之、多賀 宇太郎、奥山 虎章、宇野 剛輝、姜 鍊偲、木村 悠、相澤 隆徳、山下 省吾、井上 康憲、吉村 道博
- [5263] **分岐部病変を伴う慢性完全閉塞病変治療時に、2本の5Frガイドカテーテルを使用した同時拡張術を施行した症例についての検討**
¹⁾ 東海大学医学部附属八王子病院、²⁾ 東海大学医学部附属病院
 河村 洋太¹⁾、天野 一茂¹⁾、室谷 奈那¹⁾、野田 賢史¹⁾、唐澤 由香¹⁾、長松 裕史¹⁾、笠井 智司¹⁾、吉町 文暢¹⁾、伊莉 裕二²⁾

16:30-17:20

イブニングセミナー4

循環器救急レジストリー

▶ 共催:第一三株式会社

座長 菅野 晃靖(横浜市立大学)
 演者 神奈川県におけるACSのリアルワールドデータベース K-ACTIVEについて
 福井 和樹(神奈川県立循環器・呼吸器病センター)

座長 荒木 浩(横須賀市立うわまち病院)
山内 靖隆(総合高津中央病院)
コメンテーター 宇都宮 誠(東邦大学医療センター大橋病院)
鈴木 健之(東京都済生会中央病院)

[5271] 後脛骨動脈に吻合した遠位バイパス閉塞例に対して後脛骨動脈遠位から外側足底動脈への Percutaneous Intraluminal Needle Cracking (PINC)が著効した難治性踵潰瘍の一例

¹⁾ 自衛隊中央病院 循環器内科、²⁾ 総合高津中央病院 循環器内科
中澤 亮太¹⁾、宮本 明²⁾、高木 友誠²⁾、久原 亮二²⁾、秋田 孝子²⁾、福田 正浩²⁾、
山内 靖隆²⁾

[5272] バルーン拡張術後に末梢塞栓を来した病変をOFDIで観察し得た浅大腿動脈狭窄の一例

総合東京病院 循環器内科
田島 愛美、滝村 英幸、谷口 凜太郎、山口 幸宏、河野 真美、滝村 由香子、西尾 智、
中野 雅嗣、塚原 玲子

[5273] 正中弓状靭帯による腹腔動脈起始部圧迫症候群に対して、血管内治療によるステント留置が有効であった一例

¹⁾ 長野市民病院、²⁾ みうらハートクリニック
春原 大輔¹⁾、三浦 崇²⁾、野本 史佳¹⁾、板垣 惟¹⁾、小松 稔典¹⁾、持留 智昭¹⁾、
笠井 俊夫¹⁾、池田 宇一¹⁾

[5274] BPAへの各種PCIテクニックの応用

横浜市立大学医学部 循環器・腎臓・高血圧内科学
小村 直弘、菅野 晃靖、中山 未奈、菅原 拓哉、郷原 正臣、岩田 究、小西 正紹、
川浦 範之、田村 功一

[5275] 発作性心房細動に対するカテーテルアブレーション後に生じた左肺静脈共通幹閉塞に対して経カテーテル的血管形成術を施行した一例

東京医科歯科大学病院 循環器内科
吉川 宏、米津 太志、大森 真理、菅野 義典、仁井田 崇志、白井 英祐、平澤 憲祐、
梅本 朋幸、笹野 哲郎

**第59回 日本心血管インターベンション治療学会関東甲信越地方会
各種委員会のご案内**

日程 2022年5月7日(土)

会場 大手町サンケイプラザ

※感染症予防対策のためWeb参加を推奨します

【幹事会】 10:00-10:40 (第5会場)

【ライブ実行委員会】 10:40-11:20 (第5会場)

【運営委員会】 11:30-12:10 (第4会場)

Tokyo Live Demonstration 2022/

第60回日本心血管インターベンション治療学会 関東甲信越地方会

会長 小川 崇之(東京慈恵会医科大学附属病院)

日程 2022年10月14日(金)～15日(土)

会場 大手町サンケイプラザ

日本心血管インターベンション治療学会関東甲信越支部 (CVIT 関東甲信越支部)

名誉会員(32名)

石澤 瞭	一色 高明	内山 隆史	大畑 和義	大和 眞史	岡部 正明	小田 弘隆	櫻田 光夫
上松瀬勝男	勝木 孝明	木村 一雄	木村 満	小宮山伸之	斎藤 穎	齋藤 滋	桜田 眞已
住吉 徹哉	高瀬 真一	高山 守正	田村 勤	嶽山 陽一	茅野 眞男	出川 敏行	遠山 慎一
中村 正人	中西 成元	野口 祐一	福澤 茂	水野 杏一	道下 一朗	山口 徹	吉岡 二郎

功労会員(17名)

相沢 一徳	石綿 清雄	宇井 進	大沢 秀文	大平 洋司	角田 恒和	佐々木豊志	佐藤 康弘
鈴木 雅裕	高沢 謙二	丹羽 明博	田村 雄助	戸塚 信之	野間 重孝	宮内 克己	山根 正久
山本 一也							

支部長(1名)

伊莉 裕二

幹事(18名)

阿古 潤哉	阿部 七郎	安齊 均	伊莉 裕二	小川 崇之	緒方 信彦	尾畑 純栄	上妻 謙
小林 欣夫	菅野 晃靖	高橋 稔	武安 法之	田中 信大	本江 純子	松村 昭彦	宮下 裕介
武藤 誠	矢嶋 純二						

会計監事(2名)

足利 貴志 森田有紀子

運営委員(207名)

相原 英明	青木 二郎	青木 直人	青木 元	秋間 崇	浅井 邦也	芦田 和博	安倍 大輔
天木 幹博	荒木 浩	安東 治郎	安藤 弘	飯島 雷輔	池 信平	石井 康宏	石尾 直樹
石川 哲也	井關 治和	磯田 菊生	磯村 直栄	板本智恵子	伊藤 良明	稲垣 裕	稲見 茂信
井上 芳郎	岩城 卓	岩田 曜	岩塚 良太	植島 大輔	上原 良樹	薄井 宙男	宇都宮 誠
江崎 裕敬	海老澤総一朗	猿渡 力	及川 裕二	太田 洋	大塚 雅人	大西 祐子	大野 洋平
大谷 賢一	岡崎 真也	奥野 友信	尾崎 和幸	尾崎 俊介	小船井光太郎	小山田和弘	景山 倫也
籠島 充	門平 忠之	金谷 智明	河口 廉	河村 朗夫	菊池 達郎	北林 浩	北原 秀喜
木村 一生	木村 茂樹	興野 寛幸	清岡 崇彦	櫛田 俊一	久保 典史	久保田健之	栗原 顕
車谷 容子	黒澤 利郎	小泉 智三	高昌 秀安	児玉 隆秀	後藤 亮	小林 洋明	小堀 裕一
小宮山浩大	小山 豊	金剛寺 謙	近藤 誠	坂倉 建一	坂田 芳人	坂本 宗久	坂元 敦
櫻井 俊平	櫻井 将之	佐藤 明	佐藤 督忠	佐野 剛一	三軒 豪仁	篠崎 法彦	洪井 敬志
清水 茂雄	清水 昭吾	下地顕一郎	重城健太郎	白崎 泰隆	新家 俊郎	進藤 直久	末武 修史
杉浦 広隆	鈴木 和仁	鈴木 健之	鈴木 輝彦	鈴木 伸明	鈴木 洋	鈴木 智裕	関口 誠
高木 厚	高野 仁司	高橋佐枝子	高橋 暁行	高橋 政夫	高山 忠輝	田口 功	田口 哲也
田中 慎司	田中 博之	田中 穰	田邊 健吾	田辺 恭彦	田辺 康宏	丹下 正一	塚田 俊一
塚原 健吾	塚原 玲子	土田 圭一	東條 大輝	唐原 悟	桃原 哲也	時田 祐吉	徳永 毅
土井 宏	長岡 秀樹	長岡 優多	中津 裕介	中野 明彦	中野 雅嗣	中埜信太郎	中村 岩男
中村 智弘	中村 文隆	中山 崇	七里 守	仁科 秀崇	庭前 野菊	沼澤 洋平	根岸 耕二
根本 尚彦	野里 寿史	長谷川 祐	早川 直樹	畑 明宏	濱寄 裕司	林 英次郎	林田健太郎
原 久男	原 英彦	東谷 迪昭	樋口 甚彦	樋熊 拓未	日比 潔	平島 修	福井 和樹
福島 賢一	藤井 洋之	藤田 雅樹	藤波 竜也	藤縄 学	藤本 陽	藤本 善英	船田 竜一
船山 大	朴沢 英成	細川 丈志	細川 雄亮	前島 信彦	真壁 伸	牧野 有高	増田 尚己
松井 朗裕	松陰 崇	松村 国佳	松村 圭祐	三須 一彦	水村 泰祐	三橋 弘嗣	三宅 隆之
宮崎 忠史	宮本 明	目黒健太郎	森 文章	山内 正博	山内 靖隆	山口 淳一	山崎 正雄
山下 淳	山本 貴信	山本 剛	山本 雅人	山脇 理弘	柚本 和彦	吉川 俊治	吉町 文暢
米津 太志	米山 暁	李 慧崇	我妻 賢司	若林 公平	渡邊 重行	渡邊 雄介	

(敬称略・50音順)

第59回日本心血管インターベンション治療学会関東甲信越地方会 協賛会社一覧

朝日インテックJセールス株式会社
アシスト・ジャパン株式会社
アステラス製薬株式会社
アボットメディカルジャパン合同会社
アムジェン株式会社
エドワーズライフサイエンス株式会社
オーバスネイチメディカル株式会社
小野薬品工業株式会社/アストラゼネカ株式会社
カーディナルヘルスジャパン合同会社
株式会社カネカメディックス
協和キリン株式会社
興和株式会社
株式会社島津製作所
ゼオンメディカル株式会社
第一三共株式会社
武田薬品工業株式会社
帝人ヘルスケア株式会社
テルモ株式会社
トーアエイヨー株式会社
ニプロ株式会社
日本アビオメッド株式会社
日本新薬株式会社
日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
日本メドトロニック株式会社
ノバルティスファーマ株式会社/大塚製薬株式会社
ハートフロー・ジャパン合同会社
バイエル薬品株式会社
株式会社フィリップス・ジャパン
ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社
ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社
メディキット株式会社
株式会社メディコン
ヤンセンファーマ株式会社

(2022年4月25日現在)

第59回日本心血管インターベンション治療学会の開催に際し、上記の企業より多大なるご援助をいただきました。ここに厚く御礼申し上げます。

第59回日本心血管インターベンション治療学会関東甲信越地方会
会長 菅野 晃靖



冠動脈への少量注入から心室、
大動脈、末梢血管系への大量注入まで、
すべての造影剤注入を簡素化する
インジェクションシステムです。

ACIST | CVI
Contrast
Delivery System



タッチスクリーンによる迅速な操作と
組織への深達度と高解像度の必要性に応じた適切な
超音波周波数(40MHz/60MHz)が選択可能なうえ、
高速プルバックが可能になったことにより
モーションアーチファクトおよび
虚血リスクを最小限に抑えます。

ACIST | HDI
HD IVUS System



正確かつ信頼性の高い
冠血流予備量比(FFR)測定と
ラピッドエクスチェンジカテーテルの
利点を兼ね備えています。

ACIST | RXi
Rapid Exchange
FFR System
ACIST | RXi Mini

The power to simplify

アシストは最適なテクノロジーを用い、
インターベンション領域における診断と
治療の簡素化、患者QOLの向上に貢献
することを目指しています。

詳しくはwww.acist.comをご覧ください。

ACIST
the power to

製造販売業者
アシスト・ジャパン株式会社

〒112-0012 東京都文京区大塚三丁目11番6号
大日本図書大塚三丁目ビル7階
電話: 03-6902-9520 FAX: 03-6902-9248
www.acist.com

Bracco Group

販売名: ACIST アンギオグラフィックキット 販売名: Kodama カテーテル 販売名: Navvus カテーテル
医療機器認証番号: 21200BZY00131000 医療機器承認番号: 22800BZX00311000 医療機器承認番号: 22600BZX00530000
販売名: ACIST インジェクションシステム 販売名: HD-IVUS システム 販売名: Rxi システム
医療機器認証番号: 21200BZY00103000 医療機器承認番号: 226ADBZX00178000 医療機器承認番号: 226ADBZX00177000

新しい
生きるを、
創る。



独自技術で難病に挑み、
ひとりの「生きる」に希望をとどける。
ユニークな機能性食品で、
みんなの「生きる」を健やかにする。
新しい時代の、新しい生きるを、
わたしたちは、創っていく。

PHILIPS

Peripheral IVUS catheter

A full line of peripheral IVUS catheters to help guide your treatment strategies

IVUSカテーテルを、血管径・病変の状況により
使い分けることができます

There's always a way to make life better

innovation  you

Peripheral IVUS catheter

販売名: ビジョンズPV.018
医療機器承認番号: 22700BZX00239000

販売名: ビジョンズPV.014P
医療機器承認番号: 22300BZX00055A01

販売名: ビジョンズPV.014P FX
医療機器承認番号: 23000BZX00155000

記載されている製品名などの固有名称は、Koninklijke Philips N.V.
またはその他の会社の商標または登録商標です。
© 2018 Philips Japan, Ltd.

株式会社 フィリップス・ジャパン
www.philips.co.jp/healthcare

Vascular Intervention // Coronary
Covered Coronary Stent System

PK Papyrus

SOS

PK パピルス®

その一秒を削り出すファーストエイド



販売元

ASAHI INTECC J-sales

朝日インテックJセールス株式会社

〒108-0075 東京都港区港南2-3-13 品川フロントビル5階
TEL:03-6433-3100 FAX:03-5715-4700
注文受付FAX:0570-000-675
www.asahi-inteccj.com



for Android



for iOS

ASAHI product information

製造販売業者

バイオトロンニックジャパン株式会社



BIOTRONIK

excellence for life

PK Papyrus and proBIO are trademarks or registered trademarks of the BIOTRONIK Group of Companies.

販売名：PK パピルス カバード коронаリースtentシステム
一般的名称：冠動脈用ステントグラフト
医療機器承認番号：30200BZX00072000

©2020 BIOTRONIK AG - All rights reserved.
Specifications are subject to modification, revision and improvement.

まだないくすりを
創るしごと。

世界には、まだ治せない病気があります。

世界には、まだ治せない病気とたたかう人たちがいます。

明日を変える一錠を創る。

アステラスの、しごとです。

明日は変えられる。



astellas

アステラス製薬株式会社

www.astellas.com/jp/

Steer with precision. Cross with confidence.

THE VASSALLO[®] GT 0.14&0.18 PERIPHEPAL GUIDEWIRE PORTFOLIO

Purposely engineered deliver
exceptional performance across wide range of cases.



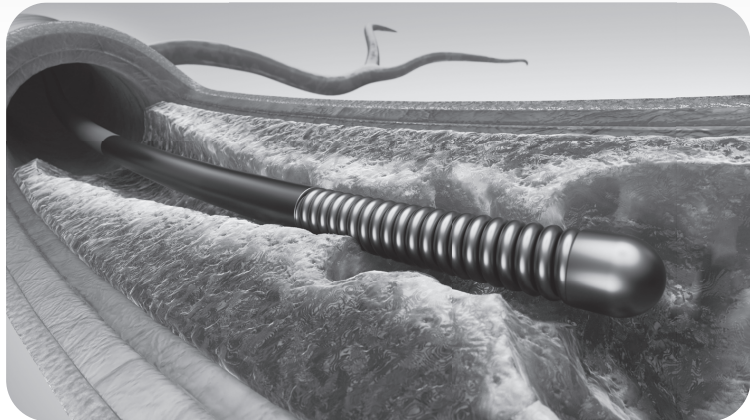
Designed to
Maneuver



Made to
Cross



Engineered to
Last



■ 承認番号: 21300BZZ00438000 ■ 販売名: HB-IVRガイドワイヤー ■ 承認番号: 23000BZX00134000 ■ 販売名: HB-IVRガイドワイヤー II
■ 承認番号: 23000BZX00054000 ■ 販売名: エクステンションワイヤ ■ 製造販売元: フィルメック株式会社

Cordis

【販売元】 Cardinal Health Japan 合同会社
本 社 / 〒163-1035 東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー

Cordis Circle



CHG0690-01-202112

©Cardinal Health Japan G.K. 2022

協和キリン株式会社

たった一度の
いのちと
歩く。

私たちの志
ここに在る真価と幸福。

私たちの志は、いつもかけがえのないものがある。健康を維持し、いつまでも心から笑って暮らすこと。そして、その笑顔が周囲の人々にも伝わるように。私たちは、この志を叶えるために、常に挑戦し、成長を続ける。そのためには、最新の医療技術を開発し、患者さんの命と健康を守ることに尽力する。私たちは、常に最先端の医療技術を開発し、患者さんの命と健康を守ることに尽力する。

自分たちを信じよう。自分たちの力を、自分たちがどこにもない思いやりと情熱で支えよう。そして、その思いやりと情熱が、患者さんに届くように。私たちは、常に最先端の医療技術を開発し、患者さんの命と健康を守ることに尽力する。

健康のチームになろう。どんな時も、自分たちが支えあうように。そして、その思いやりと情熱が、患者さんに届くように。私たちは、常に最先端の医療技術を開発し、患者さんの命と健康を守ることに尽力する。

力をあわせて人間にかなうものがある。私たちは、常に最先端の医療技術を開発し、患者さんの命と健康を守ることに尽力する。

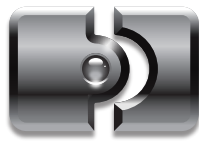
志は、人を動かすことができる。私たちは、ひとりひとりが協和キリンです。私たちは、さまざまな場所で生まれ、さまざまな時間を経て、さながら奇蹟のように、いまここに自分に出会った。そのことを心からよろこぼう。いのちのために働くことを、誇りとしよう。人間の健康を、人間のために誇らしあわせ。私たちは、ひとりひとりが協和キリンです。

たった一度の、いのちと歩く。

KYOWA KIRIN

私たちの志 検索

2019年7月作成



高脂血症治療剤

薬価基準収載

パルモディア[®]錠0.1mg
PARMODIA[®] TAB. 0.1mg (ペマフィブラート錠)

処方箋医薬品：注意—医師等の処方箋により使用すること



選択的SGLT2阻害剤 -2型糖尿病治療剤- 薬価基準収載

デベルザ[®]錠20mg
DEBERZA[®] (トホグリフロジン水和物錠)

処方箋医薬品：注意—医師等の処方箋により使用すること

効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。



製造販売元(文献請求先及び問い合わせ先)
興和株式会社
東京都中央区日本橋本町三丁目4-14

2020年8月作成



販売名:IABP コンソール ZUIRYU
承認番号:22600BZX00460000

力強さと信頼性で医療現場をサポート

IABPコンソール
ZUIRYU[®]

**XIEM
EX**

**iABP
Ballon**

MEISHU sensor 7F

日本人の体型に適したIABPバルーン

製造販売元

ゼオンメディカル株式会社

URL:<http://www.zeonmedical.co.jp>

販売名:IABPバルーン MEISHU sensor
特定保険医療材料請求分類:
バルーン/バンピング用/バルーンカテーテル (3)一般用センサー内蔵型
承認番号:30200BZX00224000

XEMEXは日本ゼオン(株)の登録商標です。

Better Health, Brighter Future

タケダは、世界中の人々の健康と、輝かしい未来に貢献するために、グローバルな研究開発型のバイオ医薬品企業として、革新的な医薬品やワクチンを創出し続けます。

1781年の創業以来、受け継がれてきた価値観を大切に、常に患者さんに寄り添い、人々と信頼関係を築き、社会的評価を向上させ、事業を発展させることを日々の行動指針としています。

武田薬品工業株式会社
www.takeda.com/jp



TEIJIN

睡眠呼吸障害をみつめて

— 診断から在宅療養までサポートするテイジン —



持続的自動気道陽圧ユニット
スリープメイト[®]10
販売名：スリープメイト10
承認番号：22700BZI00027000



持続的自動気道陽圧ユニット
スリープメイト[®]AirMini™
販売名：レスメドAirMini
承認番号：22900BZI00024000

睡眠時無呼吸
症候群治療器



睡眠評価装置
NOX A1[®]
販売名：Nox A1システム
認証番号：229ADBZ100076000

診断器

睡眠評価装置
(睡眠評価装置用プログラム)
SAS-2200
販売名：携帯用睡眠時無呼吸検査装置 SAS-2200
認証番号：230ADBZX00001000



Quality of Life

睡眠時無呼吸症候群 (SAS) などの睡眠呼吸障害にテイジンは真剣に取り組んでいます。
患者さんの Quality of Life の向上が私達の理念です。

ご使用前に添付文書および取扱説明書をよく読み、正しくお使いください。

帝人ファーマ株式会社 帝人ヘルスケア株式会社

〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号



SDB003-TB-2109
2021年9月作成



直接トロンピン阻害剤 薬価基準収載
プラザキサ[®] 75mg
カプセル 110mg
ダビガトランエテキシラートメタンシルホン酸塩製剤
処方箋医薬品
(注意・医師等の処方箋により使用すること) **Prazaxa[®] Capsules 75mg・110mg**

ダビガトラン特異的中和剤 薬価基準収載
プリズバインド[®] 静注液2.5g
イダルシズマブ(遺伝子組換え)製剤
生物由来製品 処方箋医薬品
(注意・医師等の処方箋により使用すること) **Prizbind[®] Intravenous Solution 2.5g**

「効能又は効果」「用法及び用量」「警告・禁忌を含む使用上の注意」等につきましては製品添付文書をご参照ください。

製造販売 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

〒141-6017 東京都品川区大崎2丁目1番1号 ThinkPark Tower
文献請求先及び問い合わせ先: DIセンター



2020年12月作成



劇薬・処方箋医薬品(注意・医師等の処方箋により使用すること)

エンドセリン受容体拮抗薬

薬価基準収載

オプスミット[®]錠 10mg

一般名: マシテンタン / Macitentan

●「効能・効果」、「用法・用量」、「禁忌を含む使用上の注意」等につきましては、製品添付文書をご参照ください。

Janssen
PHARMACEUTICAL COMPANIES OF
Johnson & Johnson

製造販売元(文献請求先・製品情報お問い合わせ先)

ヤンセンファーマ株式会社

〒101-0065 東京都千代田区西神田3-5-2

www.janssen.com/japan

www.janssenpro.jp (医薬品情報)

販売提携先



日本新薬株式会社

〒601-8550 京都市南区吉祥院西ノ庄門口町14



LUTONIX[®]

Drug Coated Balloon PTA Catheter

Focus on Safety

Low Dose $2\mu\text{g}/\text{mm}^2$

Balancing
Safety, Efficacy
and Biological
Response

販売名：Lutonix ドラッグコーティングバルーンカテーテル（大腿膝窩動脈用） 承認番号：22900BZX00252000 クラス分類：【4】高度管理医療機器 償還区分：PTA バルーンカテーテル・再狭窄抑制型

※事前に必ず添付文書を読み、本製品の使用目的、禁忌・禁止、警告、使用上の注意等を守り、使用方法に従って正しくご使用ください。
本製品の添付文書は、独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）の医薬品医療機器情報提供ホームページでも閲覧できます。
※製品の仕様・形状等は、改良等の理由により予告なく変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

株式会社メディコン

本社：大阪市中央区平野町 2 丁目 5 - 8
☎ 06 (6203) 6541 (代)

<https://www.crbard.jp/>

BD, the BD Logo and all other trademarks are trademarks of Becton, Dickinson and Company or its affiliates.
© 2022 BD. All rights reserved.
PIPVC008

